

ヨーグルト食文化にかかわる情報伝達手段の人工物発達学的調査

マリア・ヨトヴァ^{*1}

1. 目的

人工物発達学の観点からブルガリアの食文化におけるヨーグルトにまつわる伝統的な価値観の多様化・変遷という問題を取り上げ、ヨーグルト食文化にかかわるさまざまな情報伝達手段について、(1) 各々の手段の利用目的や利便性などを比較調査し、さらに、(2) ヨーグルトに関する特定の目的のためにどのような手段をとり、どのような手段をとらないかについて調査をおこなうことである。

それにより、本研究が現代社会における食文化への人工物発達学的な調査手法の適用モデル構築に貢献するための橋頭堡となること、これを目指しているのである。

2. ヨーグルトにまつわる価値観の多様化

現代、日本では核家族が当たり前となっているが、ブルガリアでは「おばあちゃん」を中心とした大家族の形態が多く、ヨーグルトの伝統的な味や、その作り方、食べ方、料理への利用などは、今もなおそこで受け継がれている。つまり、かつてのブルガリアのヨーグルト食文化というものは「人」を中心に、母親や祖母から次世代へと伝承されてきた。

一昔前までは、社会主義体制下(1944~1989)のブルガリアは近代化に伴い、大量生産・大量消費の産業社会を迎えることになり、乳業においてもヨーグルトやチーズのような伝統食品は家庭生産から大量生産へとシフトした。それにもない、ヨーグルトの大量生産技術の開発および乳酸菌研究の発展のなかで、ヨーグルトの伝統的な味や乳酸菌の特徴などについて多くの研究が蓄積され、文献として残されてきた。

乳業において独占的地位を占めた D.I.企業は、競争企業が存在していなかったことから、ヨーグルトに対して個性的なアプローチをとらずに、あくまでも栄養の資源として捉え、パッケージや味の多様性を追求する必要はなかった。つまり、当時のブルガリアではヨーグルトを食べることは栄養面で満たされるという要素以外は、特別な付加価値情報はなかった。

しかし、社会主義崩壊以降は、産業化社会から情報化社会への移行の時代が到来し、従来の一つの側面で見ることのなかったヨーグルトは、さまざまな角度から

情報が付加されていき、多様な価値をもつようになった。たとえば、栄養という側面以外にも健康食品や観光資源などさまざまな価値へと進化してきている。特に健康ブームの到来の影響で、健康的な食生活には、ヨーグルトは欠かせないものであるという認識が形成されており、「長寿への秘訣」や「魔法のような健康への効果」というキャッチフレーズで企業のブランド戦略や自治体のイメージ戦略において重要な位置付けとなっている。このように、企業は宣伝やホームページを通じて、消費者へと「健康食品」としてヨーグルトの新たな価値を広く伝えていく。

ヨーグルトの価値多様化の背景にはインターネットをはじめ、メディア発信者側の情報伝達手段が発展してきたことも関係していると考えられる。一方、受信者側も発信者側同様に情報を多様な選択肢から入手可能な状況へと発展を遂げている。このように、昨今の携帯電話やパソコンなどの普及により、「インターネット」が情報伝達・情報入手手段として、急速に広がりを見せている。したがって、食文化の研究において、伝統的な価値観の多様化とその変遷という問題を取り上げる際に、家族の形態や時代による生活様式の変化以外にも、「インターネット」などの電子メディアの普及も重要な要因として考慮すべきである。

また、ブルガリアの農村地域では、観光事業振興の発展により、自家製のヨーグルトは重要な観光資源として認識されており、ブルガリアのヨーグルト食文化を伝える情報伝達手段として「ヨーグルト博物館」や「ヨーグルト祭り」などが開発されている。このように、ブルガリアの人々は、観光行事のなかで、「おばあちゃんの味」を楽しむ機会や、かつてヨーグルト作りに使われていた道具や壺などを見学する機会を得ており、ヨーグルトの歴史を「知る」や、ヨーグルトの伝統を「楽しむ」という新たな次元でヨーグルトと接触している。

このように、ブルガリアのヨーグルトに求められる価値が多様化し、ヨーグルト食文化の「消費」に見られる人々の目的やそれを達成するためにとる手段も多様化してきている。現代ブルガリアにおいてヨーグルトの価値観がどのように変遷しているかを考察する際に、人工物発達学的なアプローチを適用し、日常生活において、さまざまな場面でヨーグルトに接する人々は、それぞれの目的に対して情報伝達手段としてどのような人工物を選ぶのか、または放棄するのか、という人工物発達学的な

*1: 総合研究大学院大学比較文化学専攻

視点からアンケート調査をおこなう。

3. ヨーグルトにかかわる情報伝達手段

上記で記述したように、現代ブルガリアにおいて、「味を楽しむ」、「歴史を学ぶ」、「長生きする」、などのヨーグルトにまつわる情報について、各人がそれぞれ目的と状況に応じて、異なる手段をとるのだが、本研究はヨーグルトにかかわる情報の伝達手段として、以下のような人工物が存在していると考える。

- ① インターネット
- ② 本、専門誌などの印刷物
- ③ ヨーグルト博物館
- ④ ヨーグルト祭り

ここで、なぜヨーグルト祭りを人工物の伝達手段としてみなすことができるかについて説明を加える。ヨーグルト祭りの背景には、1989年、社会主義体制が変革されて以降、都会と地方の間では、大きな経済格差が生じ、今もなお解消されていない。その状況下で、政府は自治体などによる各地の特色を活かした経済発展のための開発計画を実行することを促進してきた。その結果、手作りヨーグルトで特に有名なラズグラッド地方では、自治体の主導により、2002年から毎年ヨーグルト祭りが開催されるようになった。現地の人々は、ヨーグルト祭りを通じて、伝統的食文化や民芸などを伝達し、重要な観光資源として活用している。この意味で、ヨーグルト祭りというのは、現地の人々が発信する情報の媒介として捉えることができる。そして、本アンケート調査では、ヨーグルト祭りを上記の4つの項目のように並列させ、情報受信側の取捨選別について調べる。つまり、これらの伝達手段のそれぞれの利用目的や利用状況などを比較調査し、特定の目的のために、どのような手段をとり、どのような手段をとらないかを調査する。

4. 方法

4.1 概要

今回の調査では、ブルガリアで若年層（53名）、および年配層（25名）のデータを取得した。アンケート調査以外に、インフォーマントの一部に対して、個別に聞き取り調査もおこなったが、本稿では（1）（2）に関する設問の単純集計結果について報告する。

4.2 本稿に報告する調査概要

4.2.1 インフォーマント

本稿では、ライフスタイルが異なるブルガリアの首都ソフィアと、地方町のカザンラクおよびラズグラッドの住民を報告対象とした。質問紙調査は、ソフィアのインフォーマント（男女合計40名、そのうち男性11名、

女性29名）に関して、主に個人的人脈を通じておこなった。カザンラクおよびラズグラッドのインフォーマントに関して、市役所の協力を得て、住民（男女合計38名、そのうち男性15名、女性23名）に対しておこなった。

4.2.2 日時と場所

ソフィアデータについては、2009年7月6日～9日協力者4人に直接に会って調査用紙を渡した。回答用紙はおよそ2週間後、7月19日～22日のあいだに協力者から回収した。各インフォーマントへは協力者に調査用紙を渡してもらい、空いている時間に自宅にて記入した後、協力者に返却してもらった。

カザンラクデータについては、2009年7月10日市役所訪問の際、協力を依頼し、調査用紙とアンケート返却用箱を準備し、客窓口に置くことにした。そこで、7月10日～27日まで市役所で用事のある住民の協力者に記入し、返却用の箱に入れてもらった。また、7月27日に市役所から回収した。

ラズグラッドデータについては、ヨーグルト祭りが開催された時期（2009年7月23～26日）の間に観光客および現地の住民のなかで、協力者を得て、その場で調査用紙を記入してもらった。

4.2.3 質問紙の調査項目

ここで用いた質問紙は以下のような内容を含んでいる。

(a) インフォーマント自身について

氏名、性別、年齢、住所、職業、最終学歴、結婚歴などの個人情報に基づいて、インフォーマントの属性を規定した。ただし、各インフォーマントが必ずしも全部の項目を記入したわけではない。特に名前を記入していない人が多い。

(b) ヨーグルトに関する情報入手目的について

問1 ここではヨーグルトに関する情報入手目的について質問を設定した。具体的には、「ヨーグルトの味を楽しむ」、「健康を保つ」、「観光資源として楽しむ」、「ヨーグルトに含まれる乳酸菌の効能を学ぶ」、「ブルガリアの伝統的なヨーグルト食文化を知る」を選択肢として取り上げ、優先順位が最も高いものを選んでもらうように依頼した。

(c) それぞれの目的を達成するためとする手段

問2～6 ここではそれぞれの目的を達成するために、どのような手段をとるかについて質問した。設問の内容は以下のとおり。

問2 ブルガリアの伝統的ヨーグルト食文化について知るために、以下のどの手段を選びますか。

問3 ヨーグルトに含まれる乳酸菌について学ぶために、以下のどの手段を選びますか。

問4 ブルガリアヨーグルトの本来の味を楽しむため

に、以下のどの手段を選びますか。

問5 観光資源としてヨーグルトを楽しむために、以下のどの手段を選びますか。

問6 健康維持のため、ヨーグルトをどのような手段で選びますか。

(d) 情報伝達手段の利用状況(頻度、場面、不便な点、代替手段)について

問7 情報伝達手段として考えられる 7-1 インターネット、7-2 親戚や友人に聞く、7-3 本や専門誌などの印刷物、7-4 ヨーグルト博物館、7-5 ヨーグルト祭りを比較するための質問である。それぞれの手段の利用頻度、利用場面、不便な点、代替手段について設問を設定した。

5. 結果と分析

調査用紙の問1と問7について、都会と地方町の若干層および年齢層の結果を並べて要約し、分析をおこなう。問2～6情報手段の選定にあたり、都会と地方町の間には差が見受けられない結果が多かったため、調査結果は年齢別のデータで記述していくこととした。

問2～6は、ヨーグルトに関する特定の目的のためにどのような手段をとり、どのような手段をとらないかについて比較調査するという第二の目的に対応したものである。一方、問7は各々の情報伝達手段に関する利用場面や利便性などについて比較調査するという第一の目的に対応するものである。

5.1 ヨーグルトに関する情報入手目的について

問1ではヨーグルトに関する情報入手目的について質問している。

a) 若干層/年齢層の比較

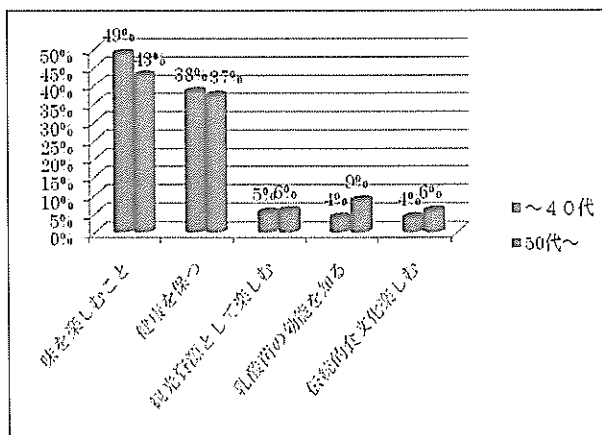


図1. ヨーグルト使用目的：50歳以下/50歳以上の比較

ヨーグルトの使用目的について、年齢別による差は見られなかったが、「味を楽しむ」、「健康を保つ」の割合が多い結果となった。「観光資源としてヨーグルトを楽しむこと」、「乳酸菌の効能を知ること」、「伝統的ヨーグルト食文化について知る」という傾向が若干あることが見受けられる。

ト食文化について知ること」は前述の2つの選択肢と比較し、少ないものの、「乳酸菌の効能を知ること」という目的については50歳以上の方が若干多く選ぶ傾向があることがわかる。このことから加齢につれて乳酸菌の効能を意識していることがうかがえる。

b) 都会/地方町の比較

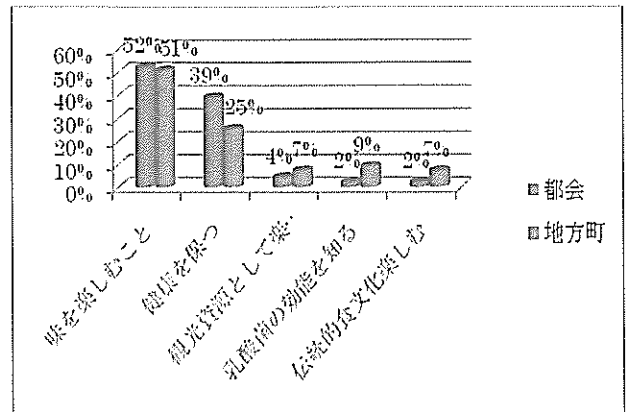


図2. ヨーグルト使用目的：都会/地方の比較

都市、地方双方とも「味を楽しむこと」を目的として50%以上と多い結果となった。次いで「健康を保つ」という選択が多いが、なかでも都会に住む人の方が地方町の人に比べ選定目的と多く支持していることが特徴として見受けられる。このことから都会に住む人は簡易な健康維持としてヨーグルトを食べていると推察される。その他の3つの選択肢はほとんど差は見受けられない結果ではあるが、そのなかでも、地方町の人々は都会の人に比べ「乳酸菌の効能を学ぶ」および「伝統的ヨーグルト食文化について知る」という傾向が若干あることが見受けられる。

5.2 それぞれの目的を達成するために取る手段

5.2.1 ヨーグルトの伝統について知るためにとる手段

a) 50歳以下

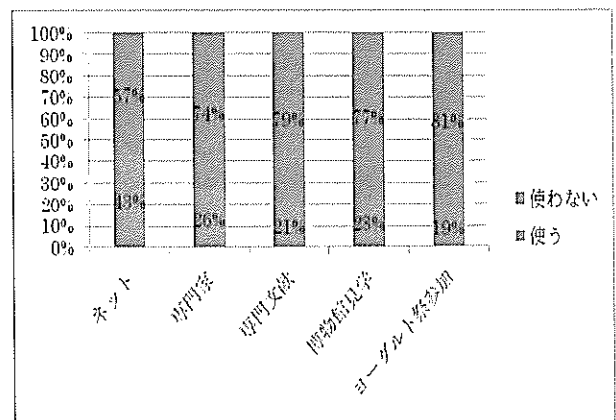


図3. ヨーグルトの伝統を知るためにとる手段：50歳以下

50歳以下でブルガリアの伝統的ヨーグルト食文化

について知るために、圧倒的に「インターネットで調べる」と回答した人が40%以上あることが本結果から得られた。50歳以下の人々は日頃からパソコンに馴染んでおり、インターネットを通じて情報入手を行っていることと推察される。他、「親戚や知人に聞く」や「専門文献や専門誌で探す」、「ヨーグルト博物館を見学し知見を深める」、「ヨーグルト祭へ参加する」は20%とほぼ横並びの結果であったが、特に「ヨーグルト博物館の見学」および「ヨーグルト祭への参加」に関しては、予想よりも高い結果となった。

b) 50歳以上

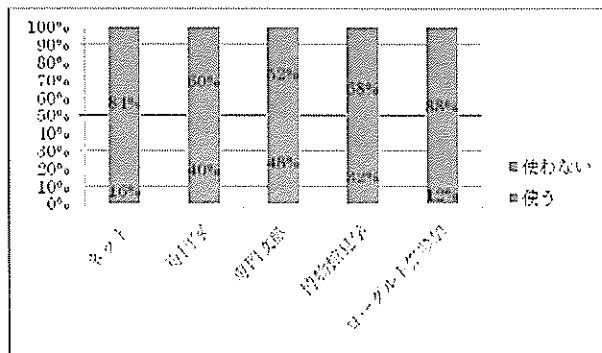


図4. ヨーグルトの伝統を知るためにとる手段：50歳以上

一方、50歳以上の人々は「専門文献や専門誌で探す」が48%、「親戚や知人に聞く」が40%と最も多い結果となった。次いで「ヨーグルト博物館を見学し知見を深める」(32%)、「インターネットで調べる」(16%)、「ヨーグルト祭へ参加する」(12%)という順であった。50歳以下の人々と比較し明らかにインターネットを利用するという選択肢が乏しいということが本結果から明らかになった。このことから、50歳以上の年齢層ではパソコンの普及が進んでいないと推察される。

c) 都会

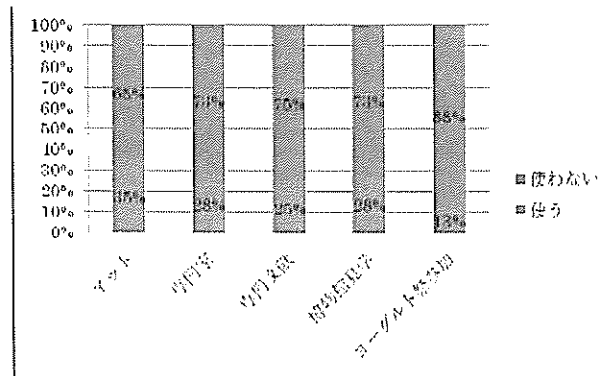


図5. ヨーグルトの伝統を知るためにとる手段：都会

都会では「インターネットで調べる」と選択した人が35%と高い結果となった。次いで「親戚や知人に聞く」(28%)および「ヨーグルト博物館見学」(28%)、「専門文献や専門誌で調べる」(25%)という結果であ

った。どの選択肢も差はあまり見られず、ほぼ横並びに近い結果となった。

d) 地方町

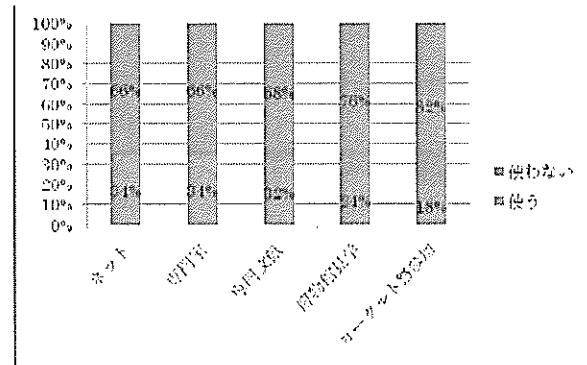


図6. ヨーグルトの伝統を知るためにとる手段：地方町

地方町では「インターネットで調べる」および「親戚や知人に聞く」が双方34%であり、「専門文献や専門誌で調べる」を選択した人は32%、「ヨーグルト博物館見学」を選択した人は24%という結果であった。前述の都会と同様に、どの選択肢にもあまり差は見受けられない。また、情報手段の選定にあたり、都会と地方町の間には差が見受けられない結果が多かったため、後述の調査結果は年齢別のデータで記述していくこととする。

5.2.2 ヨーグルトに含まれる乳酸菌について知るためにとる手段

a) 50歳以下

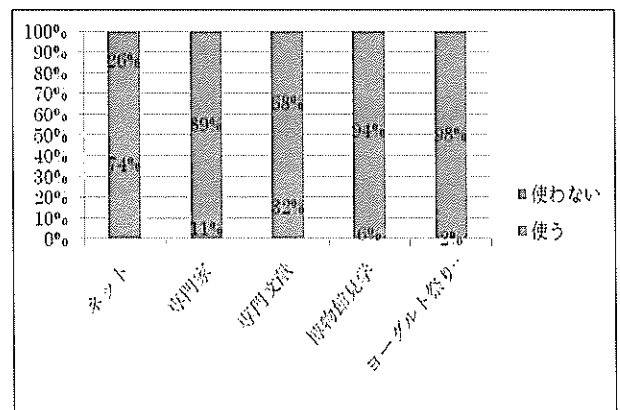


図7. ヨーグルトに含まれる乳酸菌について知るためにとる手段：50歳以下

50歳以下では、ヨーグルトに含まれる乳酸菌について知る手段として、「インターネットで調べる」と選択した人が最も多く、他の選択肢よりはるかに高い結果(74%)となった。次に、「専門文献や専門誌で情報を調べる」は32%であった。50歳以下の年代では最も身近な情報探索手段としてインターネットを使用していることがうかがえる。ブルガリアの伝統的ヨーグルト食文化について知りたい場合と比較して、乳酸菌について情報を採

す際に、「ヨーグルト博物館の見学」および「ヨーグルト祭への参加」が選択肢として、ほとんど選ばれなかった。

b) 50歳以上

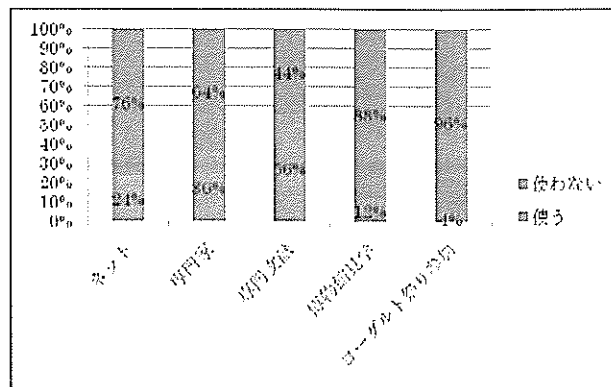


図8. ヨーグルトに含まれる乳酸菌について知るためにとる手段：50歳以上

50歳以上では、乳酸菌について知りたい場合に、「専門文献や専門雑誌で情報探す」と選択する人が56%と最も多い結果となった。次いで、「親戚や知人に聞く」は36%であった。「インターネットで調べる」と選択した人は24%であり、40歳代以下の人と比較して、圧倒的に使用頻度が少ないと思われる結果となった。

5.2.3 ヨーグルトの本来の味を楽しむためにとる手段

a) 50歳以下

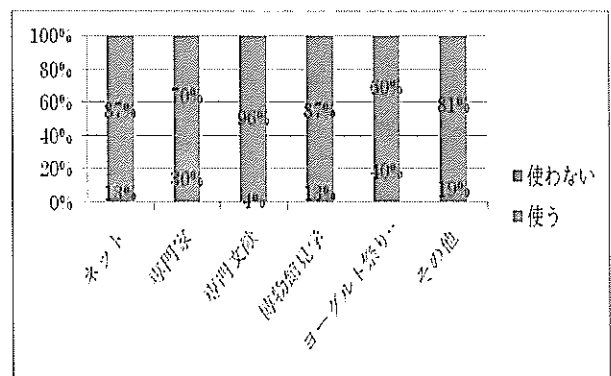


図9. 本来の味を楽しむためにとる手段：50歳以下

ブルガリアのヨーグルトの本来の味を楽しみたい場合に、50歳以下では、「ヨーグルト祭への参加」は40%と最も多い結果となった。ヨーグルト祭が開催されるラズグラッド地域とその周辺の村は、「おばあちゃん」の手作りヨーグルトが名物であり、伝統的な味を楽しむ場合は祭りへの参加が最も有効と考えているものと推察される。また、次に「親戚や知人に聞く」という選択肢が30%と高い結果となり、それは自分の母親や祖母などの親戚の手作りヨーグルトを「本来の味」として捉える傾向があるものと推察される。

b) 50歳以上

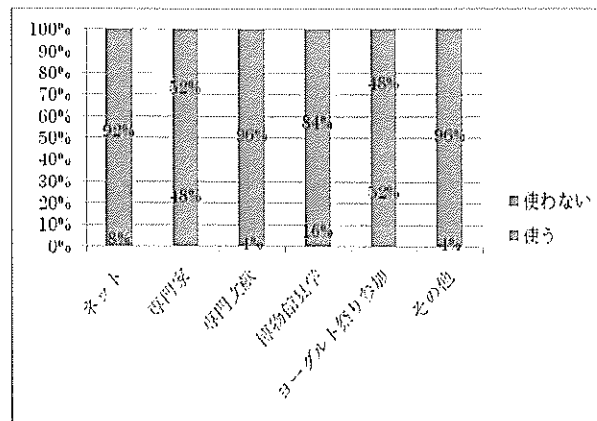


図10. 本来の味を楽しむためにとる手段：50歳以上

50歳以上では、「ヨーグルト祭への参加」は52%と最も多い結果となり、次いで親戚や友人に聞くが48%という結果となった。上記の50歳以下の人々と同様に、伝統的な味を楽しむ場合は祭りへの参加が最も有効と考えているものと推察される。50歳以下の人と唯一異なる点は、「インターネットで調べる」と選択した割合が若干少ないことである。

5.2.4 観光資源としてのヨーグルトを楽しむためにとる手段

a) 50歳以下

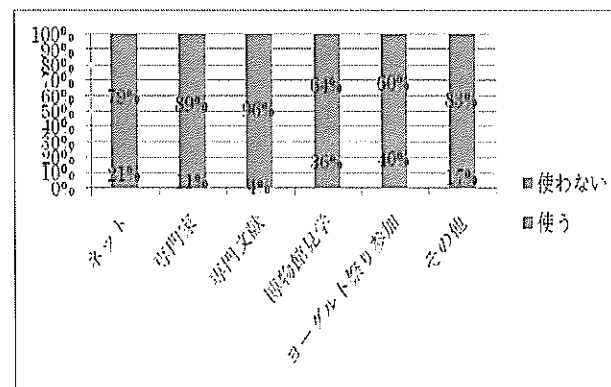


図11. 観光資源としてヨーグルトを楽しむためにとる手段：50歳以下

観光資源としてヨーグルトを捉える場合は、「ヨーグルト祭への参加」(40%)および「ヨーグルト博物館の見学」(26%)が最も有効であるという結果となった。それ以外にも、「インターネットで情報を調べること」(21%)、「その他」(17%)、「親戚や知人に聞く」(11%)であった。「その他」では、ロドピ山脈や他の農村地域を訪れ、観光する際に、現地の自家製ヨーグルトを楽しむと答えた人が多い。それは最近農村滞在型観光(ルーラル・ツーリズム)が進んでいることと関係しているものと推察される。

b) 50歳以上

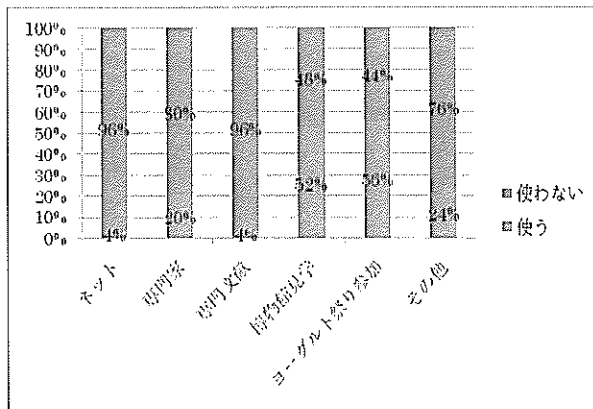


図12. 観光資源としてヨーグルトを楽しむためにとる手段：50歳以上

50歳以上では、50歳以下の傾向と同様、ヨーグルト祭が最近特に注目されているためヨーグルトを観光資源として楽しむ場合に「ヨーグルト祭りへの参加」および「ヨーグルト博物館見学」50%を超える高い割合となった。

5.2.5 健康維持のためにヨーグルトを選定する手段

a) 50歳以下

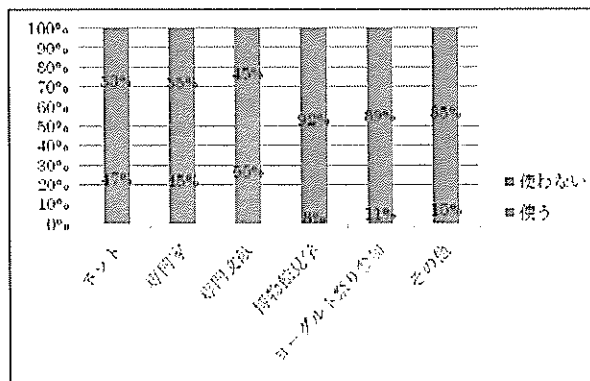


図13. 健康維持のためにヨーグルトを選定する手段：50歳以下

健康維持のためにとる手段として50歳以下は「専門文献、専門誌で情報を探す」が55%、次いで「インターネットで調べる」が47%、「知人や親戚に聞く」が45%となった。インターネットが高いと予想していたが、健康維持を調べる手段として文書による探索が最も高い結果となった。「その他」の項目では「健康を考えるとあれば自分で作った方が一番良い」という回答もいくつか見受けられた。

b) 50歳以上

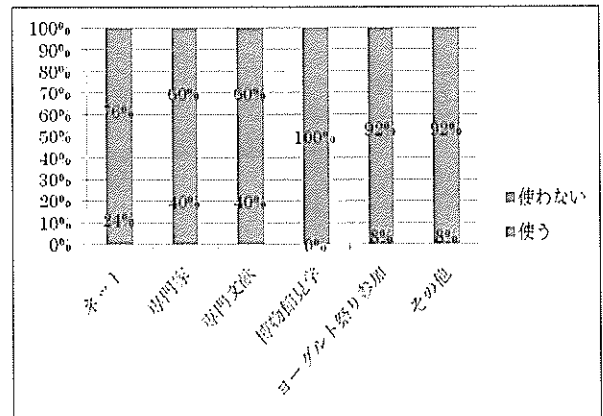


図14. 健康維持のためにヨーグルトを選定する手段：50歳以上

50歳以上では、「親戚や知人に聞く」および「専門文献や専門誌で情報を探す」双方とも40%となった。以外にも「インターネットで調べる」と答えた人は24%と比較的高い割合となった。

5.3 情報伝達手段の利用状況（利用経験、利用場面、不便な点、代替手段）について

5.3.1 インターネット

Q1 インターネットでのヨーグルトに関する情報探索経験

a) 50歳以下

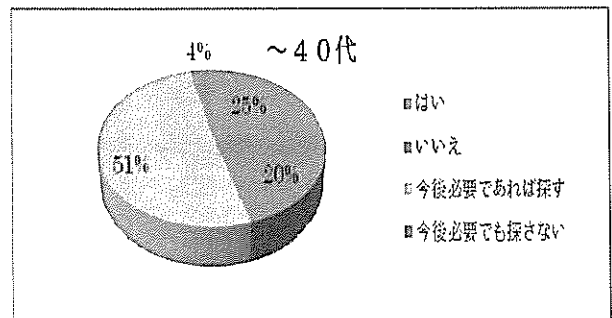


図15. インターネットでのヨーグルトに関する情報探索経験：50歳以下

インターネットでヨーグルトに関する情報を探したことがある人は、全体の四分の一であり、「今後必要であれば探す」と答えた人が過半数を占めた。

b) 50歳以上

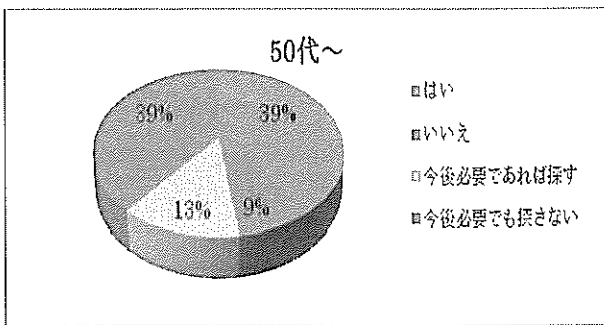


図16. インターネットでのヨーグルトに関する情報探索経験：50歳以上

50歳以下と比較し、以外にもインターネットでヨーグルトについて調べている割合が多い結果となった。本結果より50歳以上の方は健康などに気を使っているため、情報を積極的に取りに行く傾向があると思われる。また、「今後必要であれば探す」という人は13%と少なく、「今後必要でも探さない」は39%と多い結果となった。このことから必要であっても、使い方が分からないため、使わないということが垣間見える。

c) 都会

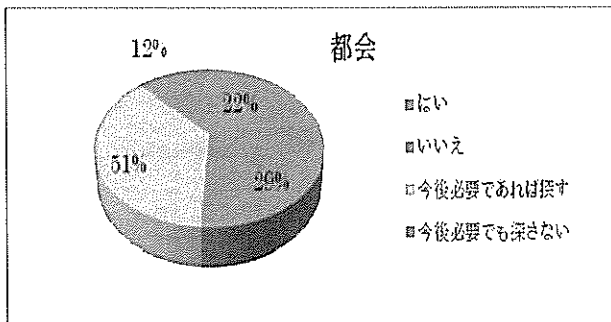


図17. インターネットでのヨーグルトに関する情報探索経験：都会

d) 地方町

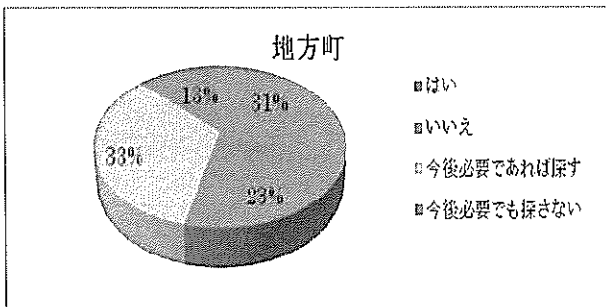


図18. インターネットでのヨーグルトに関する情報探索経験：地方町

図17と図18の対比で地方町の方が都会に比べて、インターネットでヨーグルトについて情報を探したことがあるという結果となった。おそらく地方の方が都会よりも、ヨーグルトに関する関心が高いものと思われる。

その他の選択肢に関しては、ほぼ似たような傾向にあった。

Q2 インターネットを通じてのヨーグルトに関する情報探索を必要とする局面

a) 50歳以下

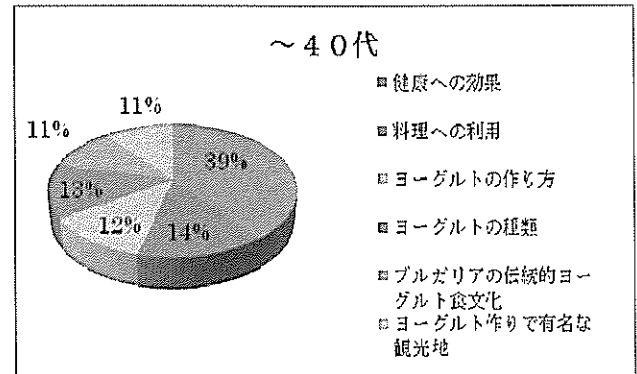


図19. インターネットを通じてのヨーグルトに関する情報探索を必要とする局面：50歳以下

50歳以下では、ヨーグルトの健康への効果についてインターネットで情報を探した人が39%と多い結果となった。

b) 50歳以上

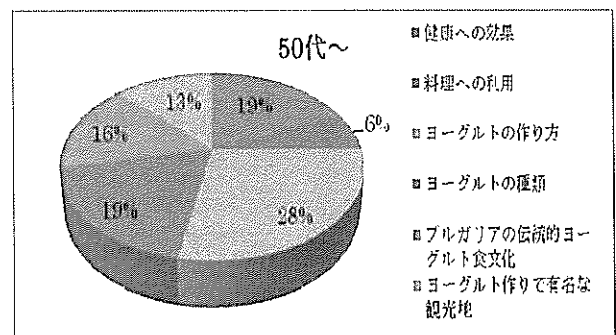


図20. インターネットを通じてのヨーグルトに関する情報探索を必要とする局面：50歳以上

一方、50歳以上では、ヨーグルトの作り方について最も情報を必要としたという結果になった。

c) 都会

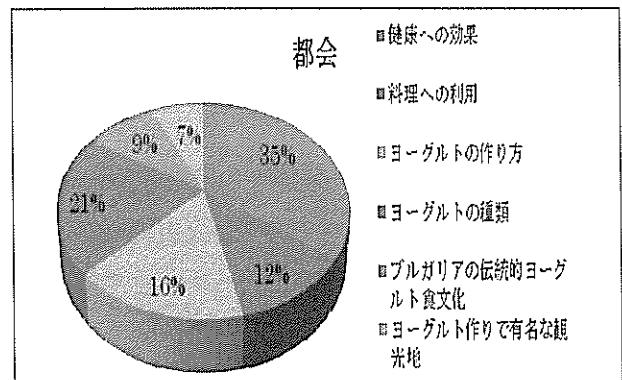


図21. インターネットを通じてのヨーグルトに関する情報探索を必要とする局面：都会

d) 地方町

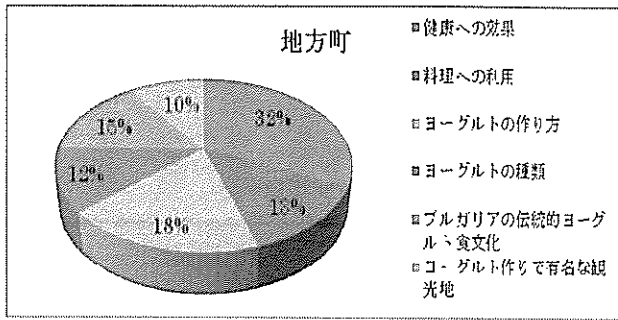


図 2 2. インターネットを通じてのヨーグルトに関する情報探索を必要とする局面：地方町

図 2 1 と図 2 2 都会と地方町の比較では、同様の傾向が見受けられ、健康への効果についてインターネットで情報を探した人が最も多い結果であった。

Q3 インターネットでのヨーグルトに関する情報探索の不便な点

a) 50歳以下

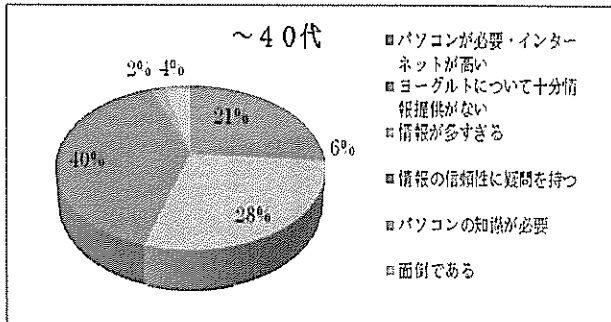


図 2 3. インターネットでのヨーグルトに関する情報探索の不便な点：50歳以下

50歳以下では、インターネットの不便な点について「情報の信頼性に疑問を持つ」「情報が多すぎる」と回答した人がそれぞれ40%、28%と高い結果となった。これは、情報過多の状況下において無限の選択肢の中から、宣伝広告と本当に信頼したい情報がインターネット上では錯綜していることから、信頼性に懐疑的にならざるを得なり、このような結果につながったと考えられる。

b) 50歳以上

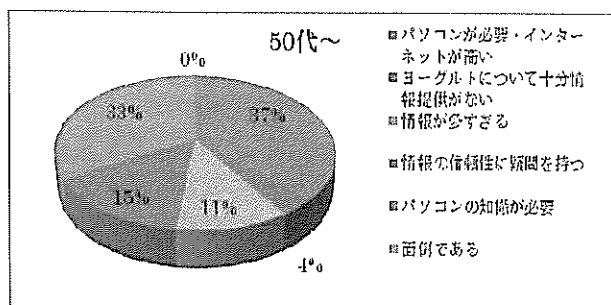


図 2 4. インターネットでのヨーグルトに関する情報探索の不便な点：50歳以上

50歳以上の回答では「パソコンが必要」(37%)および「パソコンについての知識が必要」(33%)という回答が過半数を占め、40歳以下の人とは別次元の不便さを感じているという結果であった。

c) 都会

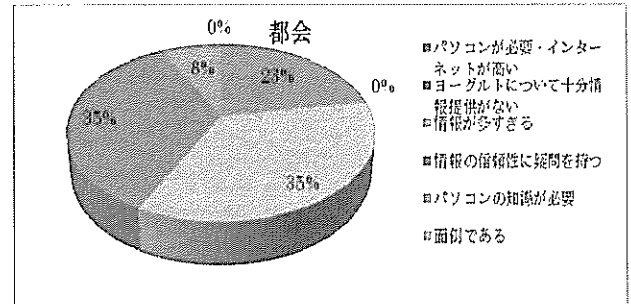


図 2 5. インターネットでのヨーグルトに関する情報探索の不便な点：都会

d) 地方町

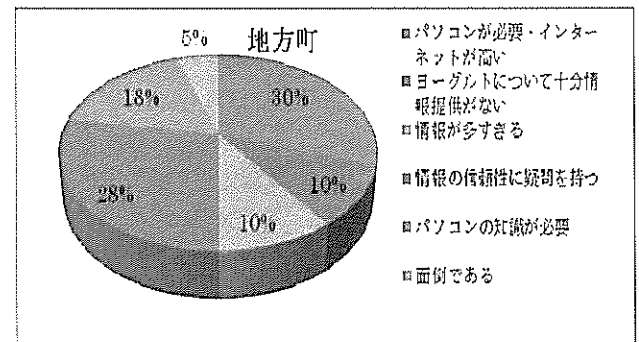


図 2 6. インターネットでのヨーグルトに関する情報探索の不便な点：地方町

図 2 5、図 2 6 を比較し、都会、地方町ともにインターネット上情報過多による信頼性の疑問ということでは同一傾向にあるが、異なるのは「パソコンが必要、インターネットが高い」という地方町特有の不便さを感じている点であった。やはり都会と比較し、地方町はインターネットのインフラ整備がやや立ち遅れていることが要因であると考えられる。

Q4 インターネットの代替手段

a) 50歳以下

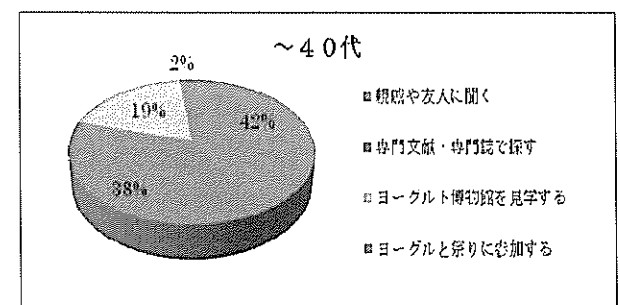


図 2 7. インターネットの代替手段：50歳以下

b) 50歳以上

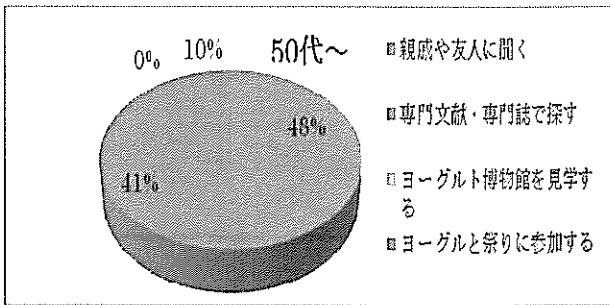


図28. インターネットの代替手段：50歳以上

図27、28を見比べ、「知人や友人に聞く」が過半数を占め、ほぼ同一傾向という結果となった。

c) 都会

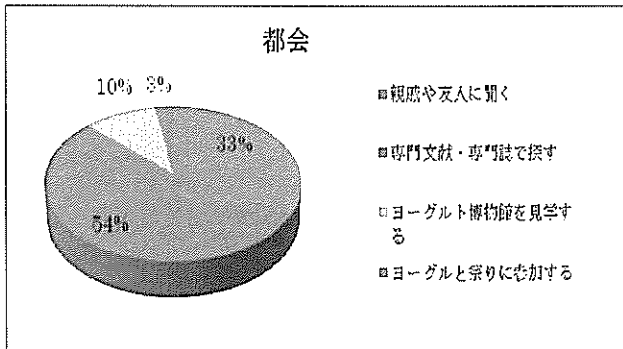


図29. インターネットの代替手段：都会

d) 地方町

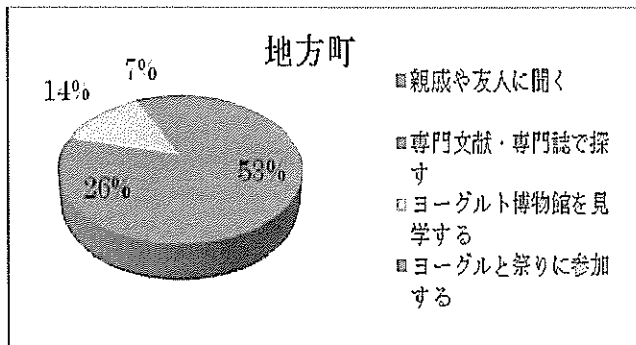


図30. インターネットの代替手段：地方町

図29、30と比較し、地方町では親戚や友人に聞く割合が都会と比較し圧倒的に多い結果となった。このことから地方町では都会よりも近隣住民や親戚友人との間に結びつきが強いものと考えられる。また、都会は地方町に比べ専門文献や専門誌で探す割合が二倍ほど高い。このことから都会は書店など購入経路が地方町と比較し、整備されていることが影響しているものと考えられる。

5.3.2 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集

Q1 親戚や友人を通じてのヨーグルトに関する情報収集経験

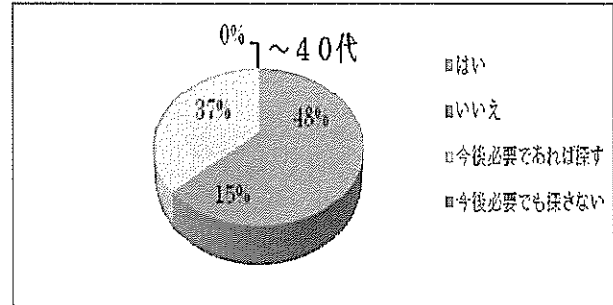


図31. 親戚や友人を通じてのヨーグルトに関する情報収集：50歳以下

b) 50歳以上

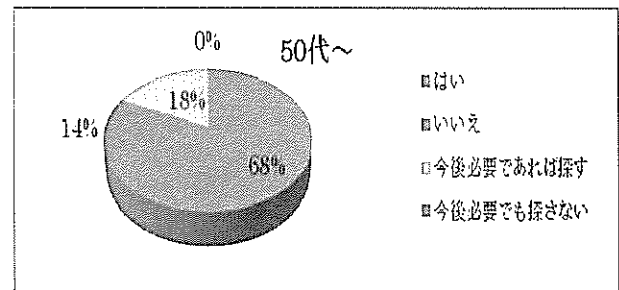


図32. 親戚や友人を通じてのヨーグルトに関する情報収集：50歳以上

c) 都会

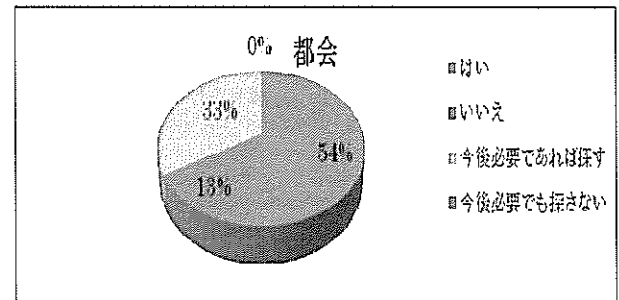


図33. 親戚や友人を通じてのヨーグルトに関する情報収集：都会

d) 地方町

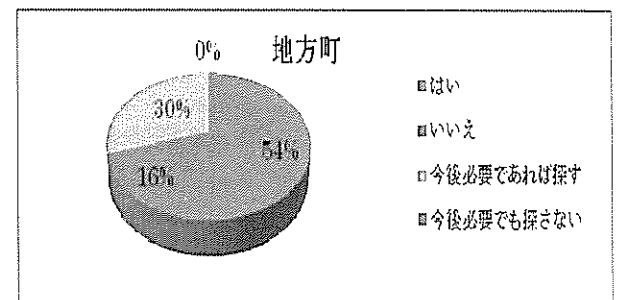


図34. 親戚や友人を通じてのヨーグルトに関する情報収集：地方町

図31、32、33、34を比較し、年齢や場所関係なく親戚や友人を通じて情報収集をおこなったことがある、または今後必要であればおこなう、という回答は圧倒的に多い結果となった。

Q2 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集を必要とする局面

a) 50歳以下

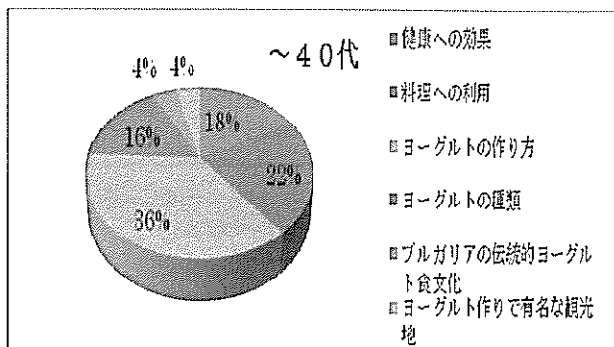


図35. 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集を必要とする局面：50歳以下

b) 50歳以上

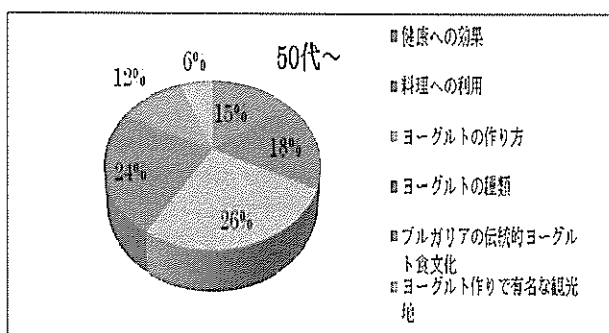


図36. 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集を必要とする局面：50歳以上

c) 都会

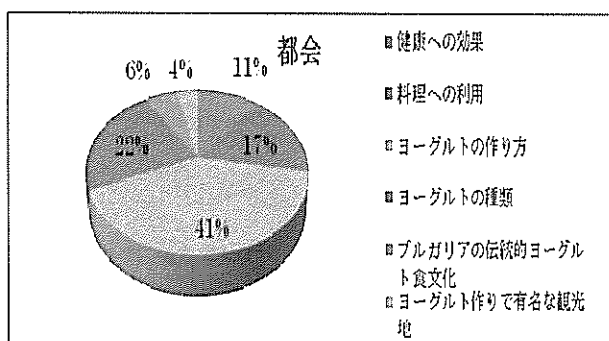


図37. 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集を必要とする局面：都会

d) 地方町

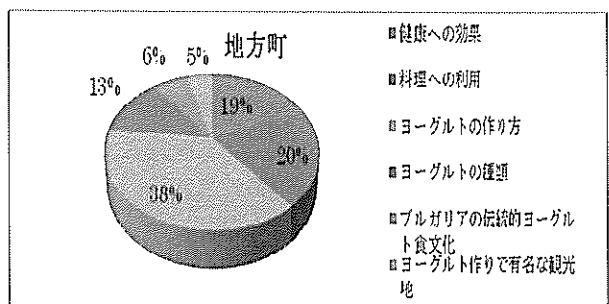


図38. 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集を必要とする局面：地方町

図35、36、37、38を比較し、年齢や場所関係なく親戚や友人を通じて情報収集をおこなう局面として、ヨーグルトの作り方および料理への利用という回答は圧倒的に多い結果となった。また、ヨーグルトの種類や健康への効果についても、身近な人に相談することが割と多いということがわかった。

Q3 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集の不便な点

a) 50歳以下

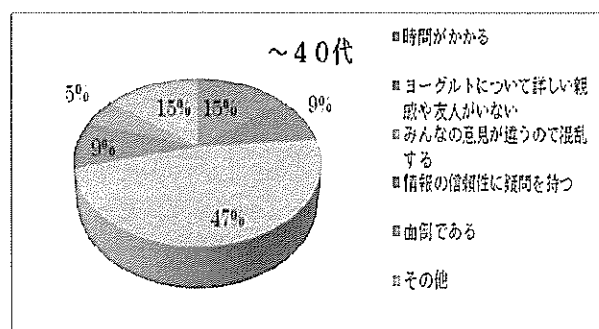


図39. 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集の不便な点：50歳以下

b) 50歳以上

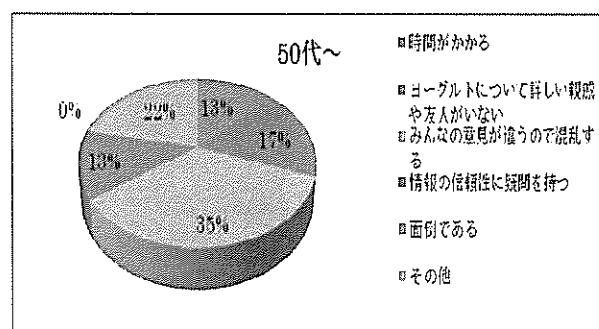


図40. 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集の不便な点：50歳以上

c) 都会

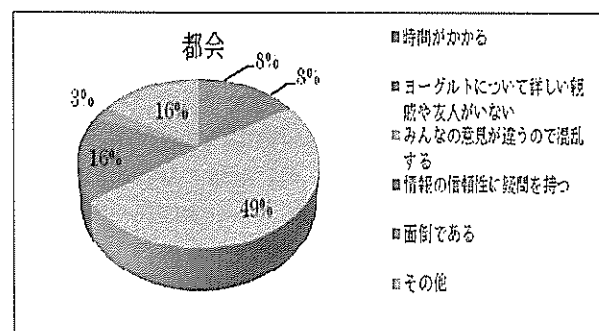


図41. 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集の不便な点：都会

d) 地方町

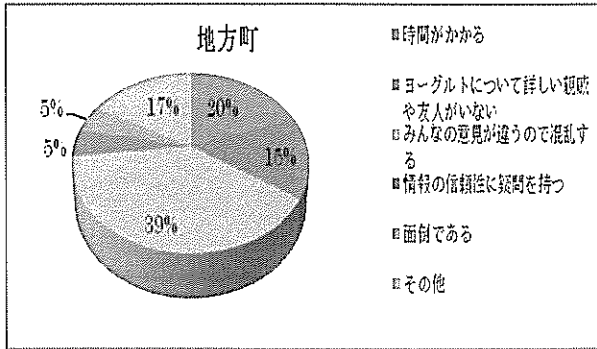


図42. 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集の不便な点：地方町

図39、40、41、42を比較し、年齢や場所関係なく人を通じてのヨーグルトに関する情報収集の不便な点として、人の意見が異なることによって混乱する可能性が高いという回答は圧倒的に多い結果となった。次いで、必要な情報に関して詳しい人が身近にいるかどうかということは、人を通じて得られた情報の信頼性につながり、この手段の不便なところとして多く取り上げられる結果となった。また、人に相談することは「時間がかかる」と回答した人は比較的によく、時間に追われる現代の生活様式を反映していると考えられる。

Q4 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集の代替手段

a) 50歳以下

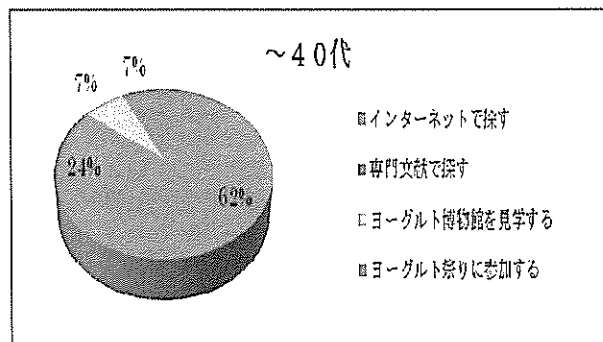


図43. 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集の代替手段：50歳以下

b) 50歳以上

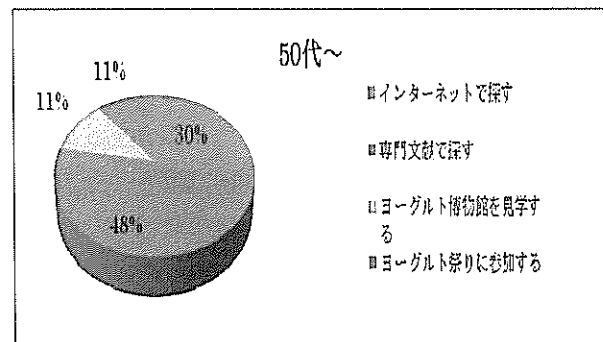


図44. 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集の代替手段：50歳以上

図43と図44の対比では、50歳以下ではインターネットで情報を探すが割合が50歳以上の人と比較し、2倍も多い結果となった。このことから50歳以下の年代では最も身近な情報探索手段としてインターネットを使用していることがうかがえる。

c) 都会

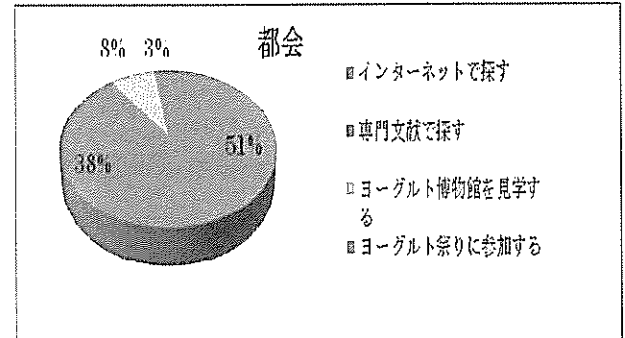


図45. 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集の代替手段：都会

d) 地方町

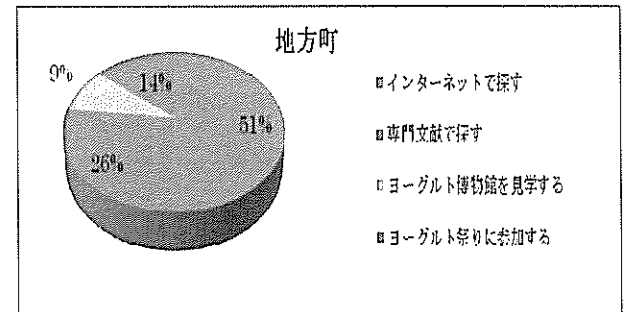


図46. 人を通じてのヨーグルトに関する情報収集の代替手段：地方町

図45と図46を比較して、都会・地方町関係なく、人を通じてのヨーグルトに関する情報収集の代替手段として、インターネットで情報を探すと手段を選択した人が50%を超えており、推奨手段となっている。次いで、専門文献で探すという回答が多いが、都会では地方町に比べて、高い数字を見せている。

5.3.3 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集

Q1 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集経験

a) 50歳以下

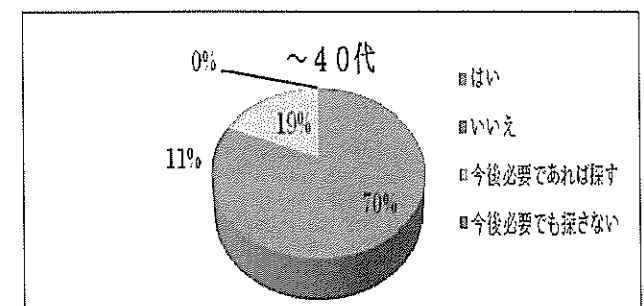


図47. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集経験：50歳以下

b) 50歳以上

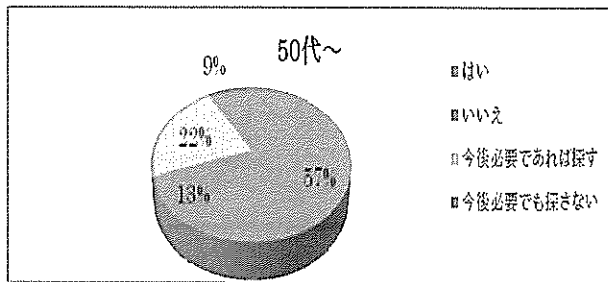


図48. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集経験：50歳以上

c) 都会

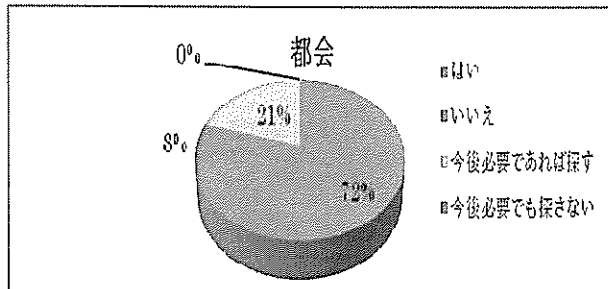


図49. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集経験：都会

d) 地方町

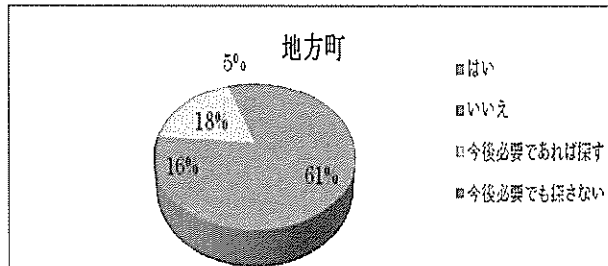


図50. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集経験：地方

図47、48、49、50を比較し、年齢や場所関係なく専門文献や専門誌を通じて情報収集をおこなったことがある、または今後必要であればおこなう、という回答は圧倒的に多い結果となった。

Q2 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集を必要とする局面

a) 50歳以下

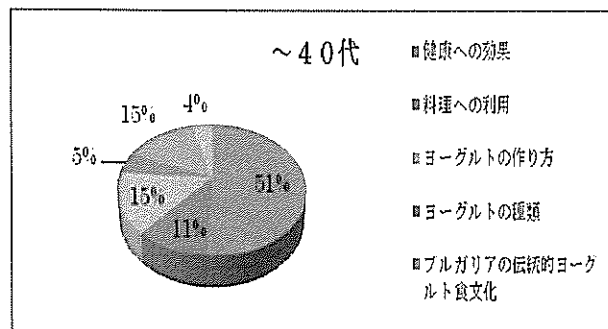


図51. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集を必要とする局面：50歳以下

b) 50歳以上

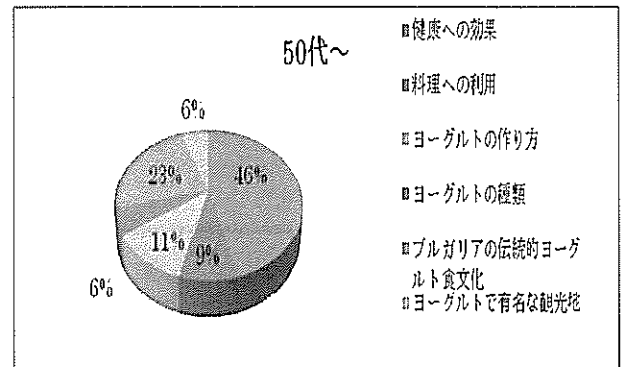


図52. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集を必要とする局面：50歳以上

c) 都会

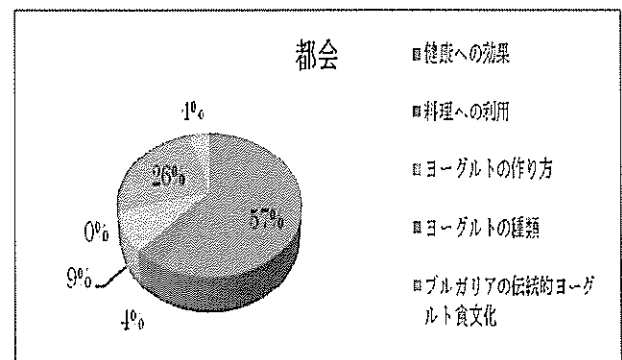


図53. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集を必要とする局面：都会

d) 地方町

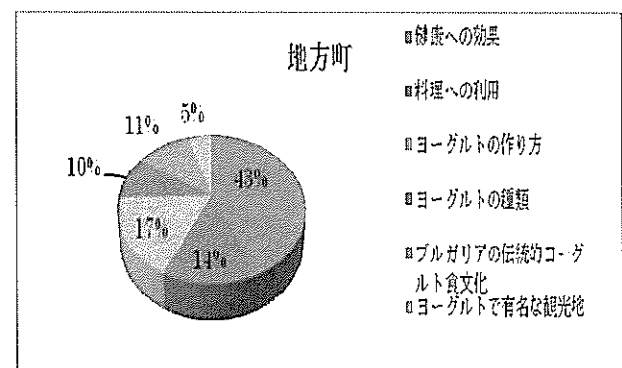


図54. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集を必要とする局面：地方町

図51、52、53、54を比較し、専門文献や専門誌を通じて、健康への効果について情報を探した人が最も多い結果であった。次いで、ヨーグルトの作り方およびブルガリアの伝統的ヨーグルト食文化と回答した人が多く、年齢や場所関係なく、同様の傾向が見受けられる。

Q3 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集の不便な点

a) 50歳以下

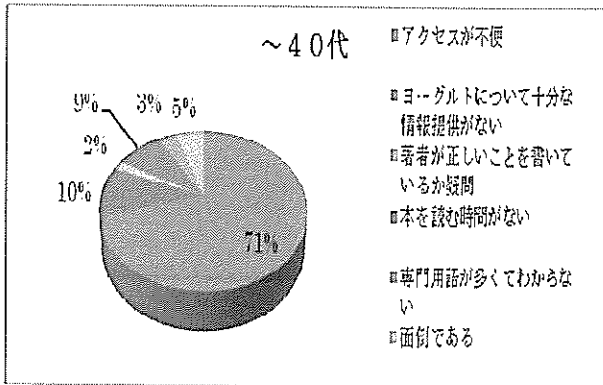


図55. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集の不便な点：50歳以下

b) 50歳以上

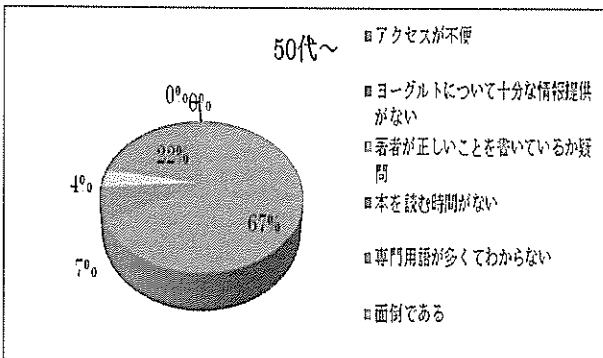


図56. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集の不便な点：50歳以上

c) 都会

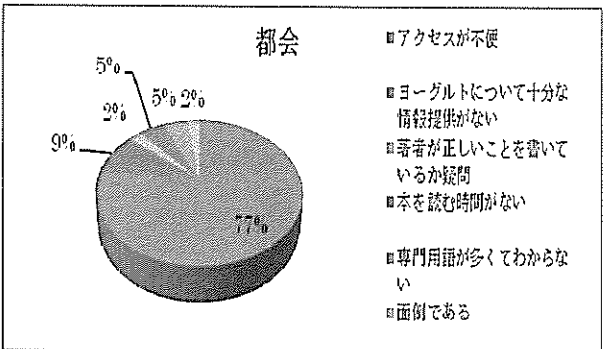


図57. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集の不便な点：都会

d) 地方町

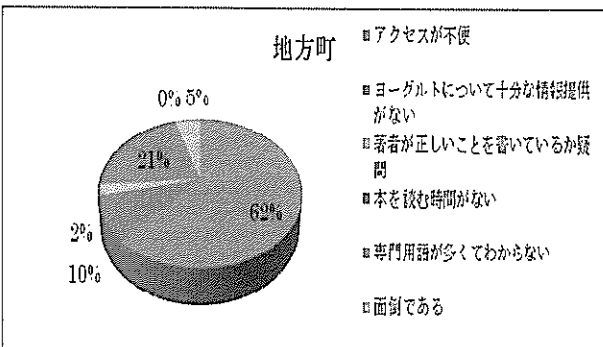


図58. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集の不便な点：地方町

図55、56、57、58を見比べ、「アクセスが不便」が過半数を占め、ほぼ同一傾向という結果となった。つまり、ヨーグルトに関する専門文献が身近にないということが、この手段を利用する際、最も不便な点である。

Q4 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集の代替手段

a) 50歳以下

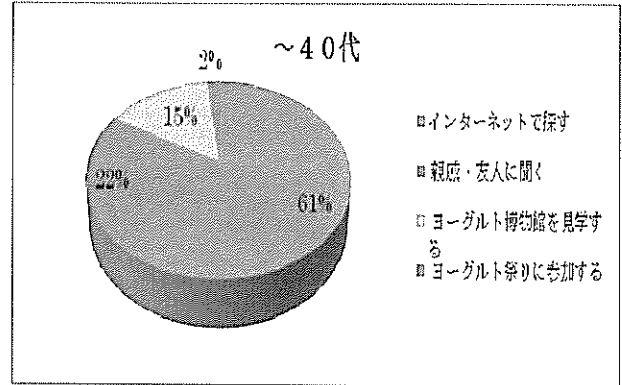


図59. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集の代替手段：50歳以下

50歳以下では、専門文献を通じてのヨーグルトに関する情報収集の代替手段として、インターネットを利用すると回答した人が61%であり、最も多い結果となった。次いで、「親戚や友人に聞く」割合が22%という結果となった。

b) 50歳以上

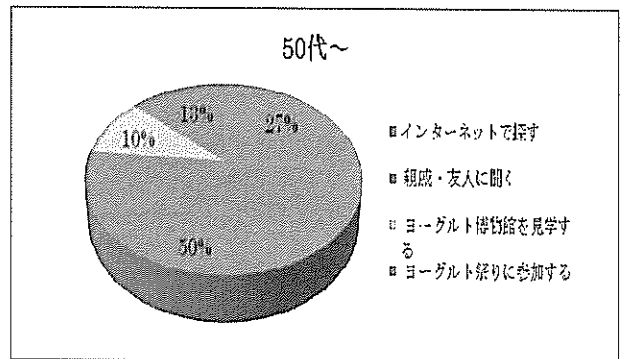


図60. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集の代替手段：50歳以上

50歳以上では、「親戚や友人に聞く」割合が半数を占めて、最も多い割合となった。50歳以下の人と比較して、インターネットを利用すると回答した人が、2倍以上少ないという結果となった。

c) 都会

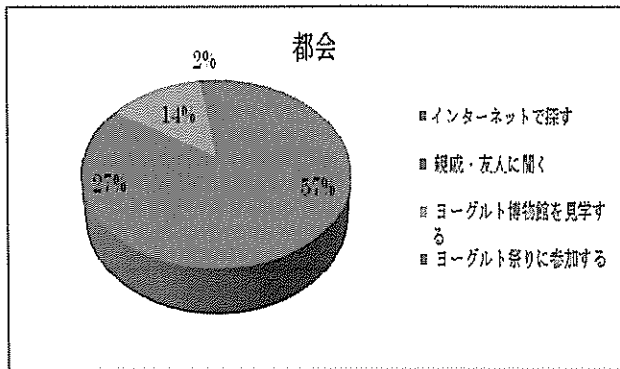


図 6 1. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集の代替手段：都会

d) 地方町

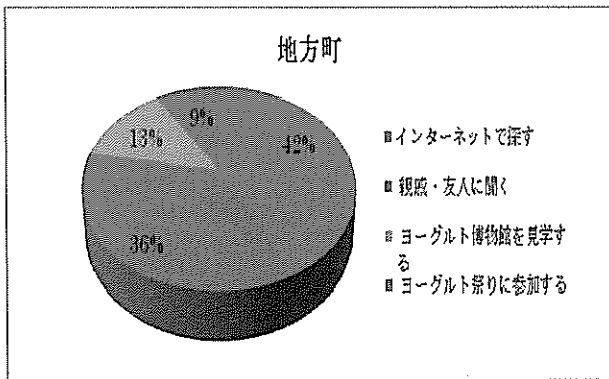


図 6 2. 本を通じてのヨーグルトに関する情報収集の代替手段：地方町

図 6 1、6 2 を見比べ、「インターネットで情報を探す」の割合が最も多く、ほぼ同一傾向という結果となった。

5.3.4 ヨーグルト博物館の見学

Q1 ヨーグルト博物館の訪問経験

a) 50歳以下

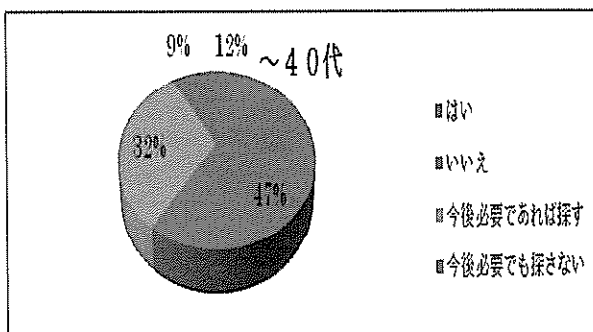


図 6 3. ヨーグルト博物館の訪問経験：50歳以下

b) 50歳以上

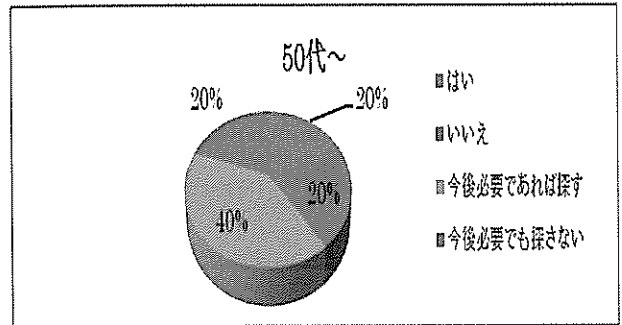


図 6 4. ヨーグルト博物館の訪問経験：50歳以上

図 6 3、6 4 を比較して、50歳以上では、ヨーグルト博物館を来訪した経験がある人、または行ってみたいと思う人は、50歳以下に比べて、はるかに多い結果となった。

c) 都会

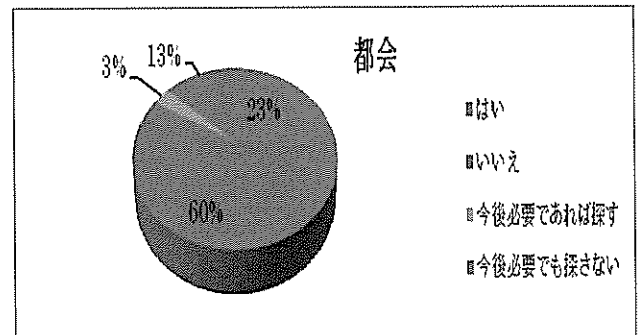


図 6 5. ヨーグルト博物館の訪問経験：都会

d) 地方町

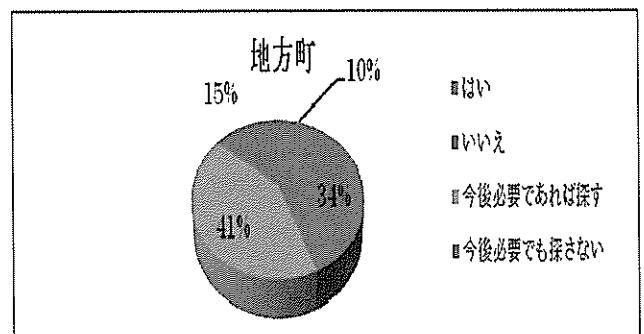


図 6 5. ヨーグルト博物館の訪問経験：地方町

図 6 5 と図 6 6 との比較では、ヨーグルト博物館を来訪した経験のある人は、都会の方が二倍ほど多いが、行ってみたいと思う人は、地方町の方が圧倒的に多いという結果となった。

Q2 ヨーグルト博物館の訪問目的

a) 50歳以下

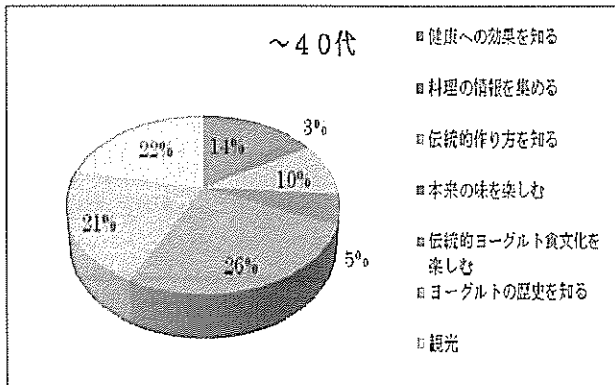


図67. ヨーグルト博物館の訪問目的：50歳以下

50歳以下では、ヨーグルト博物館を訪問する目的として、「伝統的ヨーグルト食文化を楽しむこと」（26%）と回答した人が最も多い結果となった。次いで、「観光のために」（22%）および「ヨーグルトの歴史について勉強すること」（21%）がヨーグルト博物館の来訪目的として取り上げられている。

b) 50歳以上

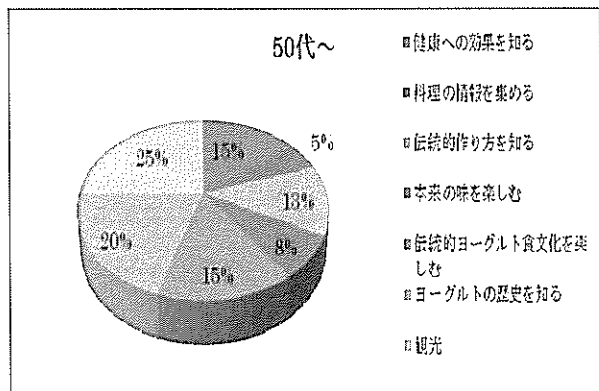


図68. ヨーグルト博物館の訪問目的：50歳以上

50歳以上では、「観光のために」ヨーグルト博物館を訪問する人は25%であり、最も多い結果となった。次いで、「ヨーグルトの歴史について勉強すること」（20%）、「伝統的ヨーグルト食文化を楽しむこと」（15%）および「健康への効果について知ること」（15%）という結果であった。

c) 都会

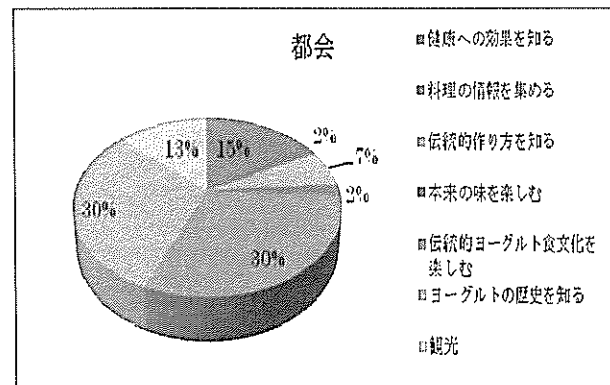


図69. ヨーグルト博物館の訪問目的：都会

都会では「ヨーグルトの歴史について勉強すること」（30%）および「伝統的ヨーグルト食文化を楽しむこと」（30%）と選択した人が最も多い結果となった。

d) 地方町

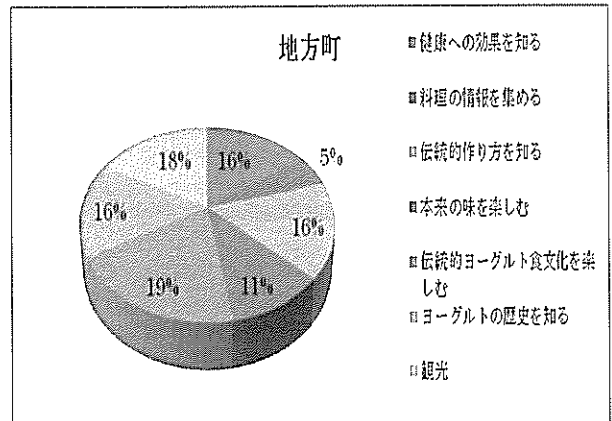


図70. ヨーグルト博物館の訪問目的：地方町

地方町では、「伝統的ヨーグルト食文化を楽しむこと」（19%）および「観光のために」（18%）の割合が最も多いという結果となった。

Q8 ヨーグルト博物館の不便な点

a) 50歳以下

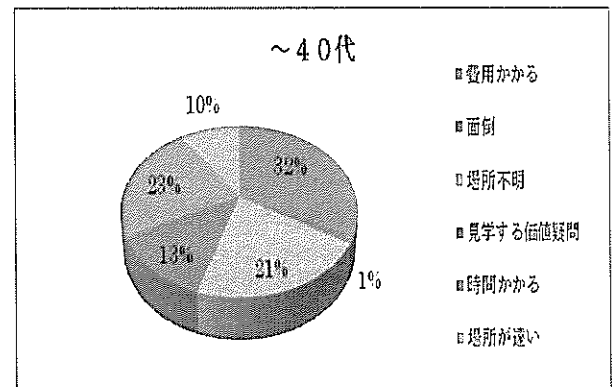


図71. ヨーグルト博物館の不便な点：50歳以下

b) 50歳以上

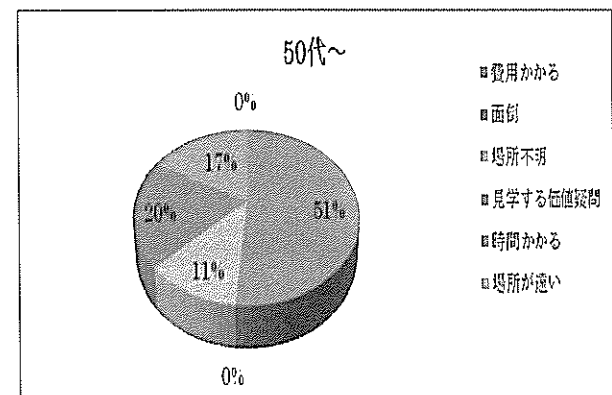


図72. ヨーグルト博物館の不便な点：50歳以上

c) 都会

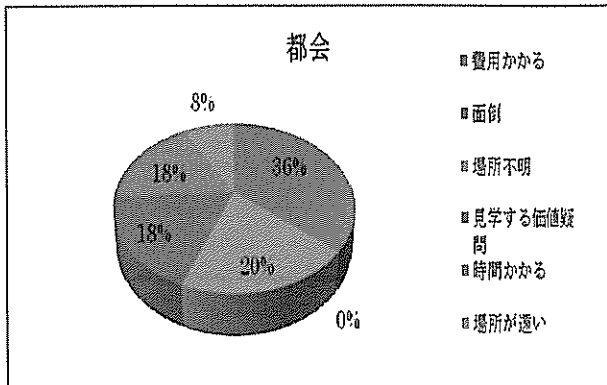


図 7 3. ヨーグルト博物館の不便な点：都会

d) 地方町

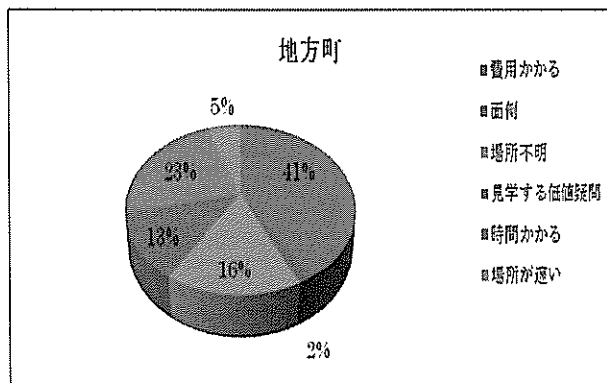


図 7 4. ヨーグルト博物館の不便な点：地方町

図 7 1、7 2、7 3、7 4 を見比べ、年齢や場所関係なく、「費用がかかる」の割合が圧倒的に多く、ほぼ同一傾向という結果となった。次いで、「場所がわからない」および「時間がかかる」というのがヨーグルト博物館の不便な点として最も多く取り上げられた。

Q4 ヨーグルト博物館の代替手段

a) 50歳以下

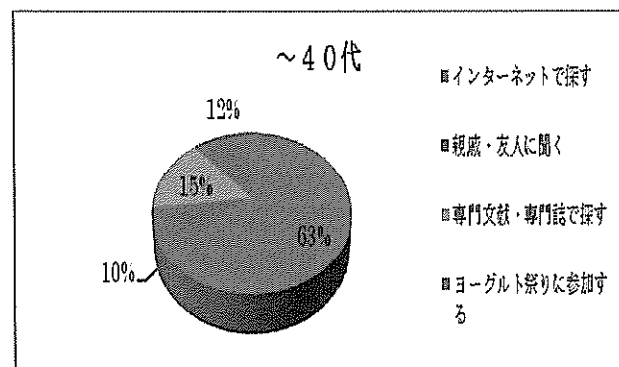


図 7 5. ヨーグルト博物館の代替手段：50歳以下

b) 50歳以上

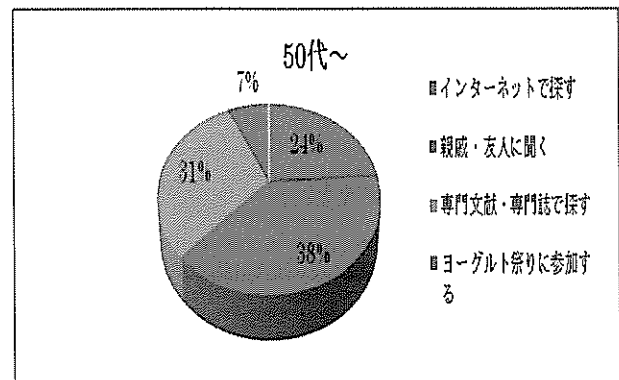


図 7 6. ヨーグルト博物館の代替手段：50歳以上

50歳以上では、「親戚や友人に聞く」という手段が38%であり、最も多い結果となった。次いで、「専門文献・専門誌で情報を探す」(31%)および「インターネットで調べる」(24%)という結果だったが、インターネットを代替手段として選定した人の割合が、50代以下の人と比較して、圧倒的に少ない結果となった。

c) 都会

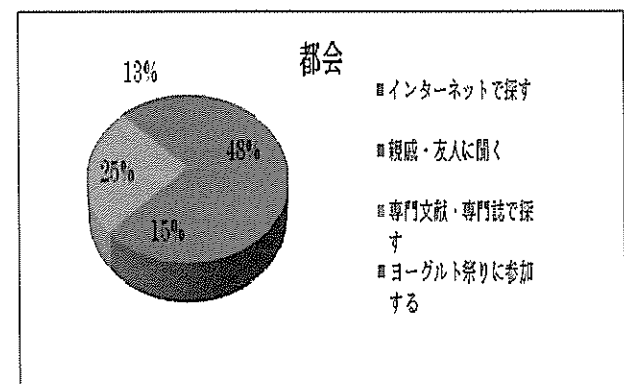


図 7 7. ヨーグルト博物館の代替手段：都会

d) 地方町

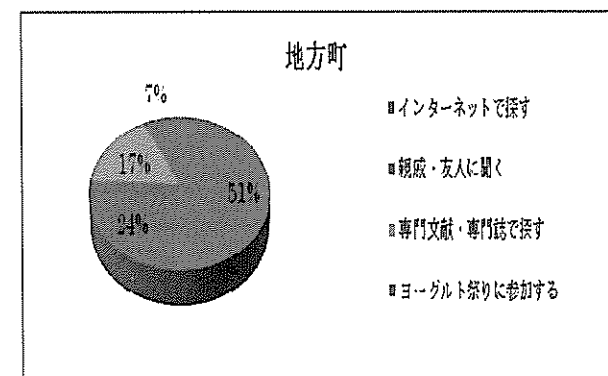


図 7 8. ヨーグルト博物館の代替手段：地方町

図 7 7、7 8 を見比べ、都会・地方関係なく、代替手段として、インターネットでの情報探索が割合が最も多い結果となった。次いで、地方町では「親戚や友人に聞く」、都会では「専門文献や専門誌で情報を探す」の割合が多い結果となった。

5.3.5 ヨーグルト祭への参加

Q1 ヨーグルト祭への参加経験

a) 50歳以下

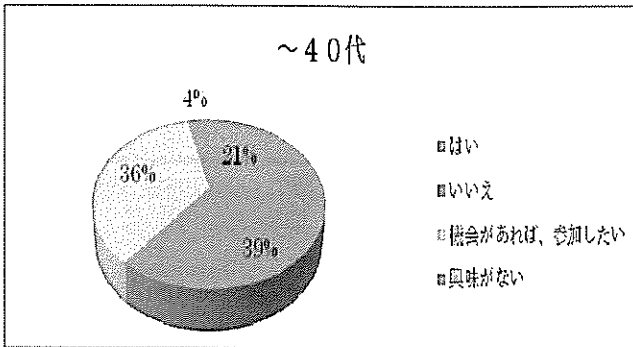


図79. ヨーグルト祭への参加経験：50歳以下

b) 50歳以上

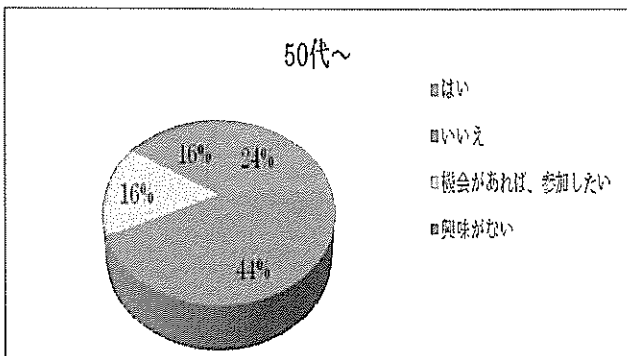


図80. ヨーグルト祭への参加経験：50歳以上

図79と図80を比較して、50歳以上では、ヨーグルト祭りに参加したことがある人は、50歳以下の人に比べて、若干多い結果となったが、行ってみたいと思う人は、50歳以下でははるかに多い結果となった。

c) 都会

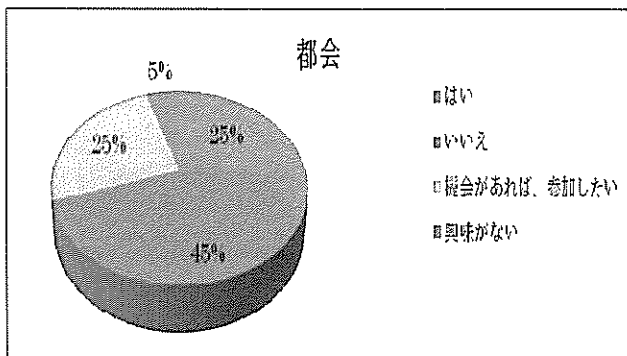


図81. ヨーグルト祭への参加経験：都会

d) 地方町

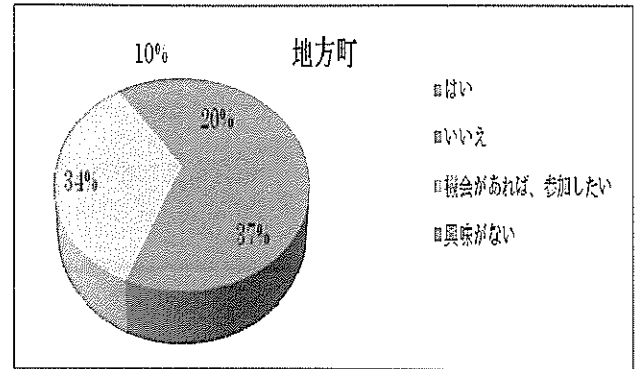


図82. ヨーグルト祭への参加経験：地方町

図81、82を見比べ、ヨーグルト祭りに参加したことがある人は、都会の方が若干多い結果となった。一方、行ってみたいと思う人の割合について、地方町の方が多いという結果となった。

Q2 ヨーグルト祭への参加目的

a) 50歳以下

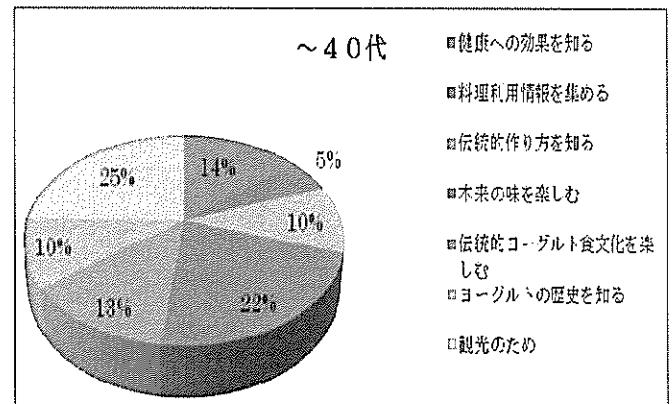


図83. ヨーグルト祭への参加目的：50歳以下

b) 50歳以上

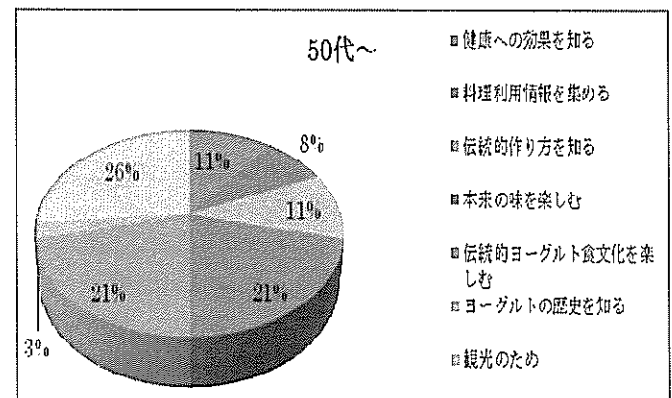


図84. ヨーグルト祭への参加目的：50歳以上

図83、84を比較して、ヨーグルト祭りへの参加目的として、「観光」を取り上げた人が最も多い結果となった。次いで、「ヨーグルトの本来の味を楽しむ」および「伝統的ヨーグルト食文化を楽しむ」の割合が多く、ほぼ同

一の結果となった。

c) 都会

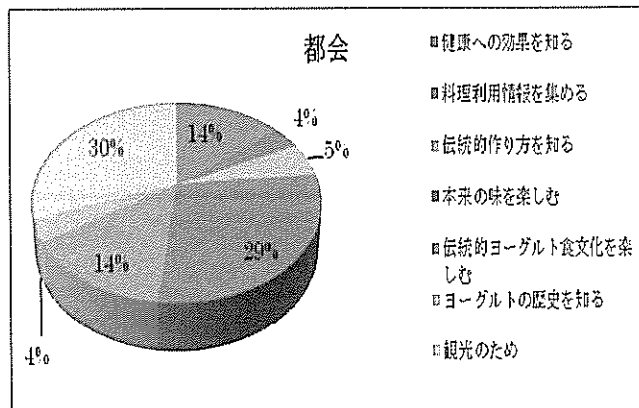


図 8 5. ヨーグルト祭への参加目的：都会

d) 地方町

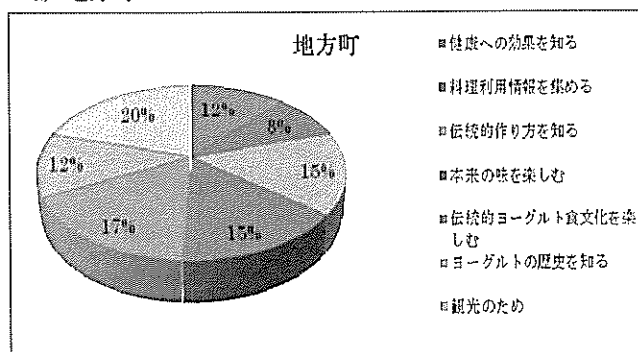


図 8 6. ヨーグルト祭への参加目的：地方町

図 8 5 と図 8 6 の比較では、都会・地方関係なく、ヨーグルト祭りへの参加は「観光のために」と回答した人が最も多い結果となった。次いで、都会では「ヨーグルトの本来の味を楽しむ」、地方町では「伝統的ヨーグルト食文化を楽しむ」の割合が多い結果となり、「ヨーグルトを楽しむ」というキーワードで年齢や場所が関係なく、同様の傾向が見受けられる。

Q3 ヨーグルト祭の不便な点

a) 50歳以下

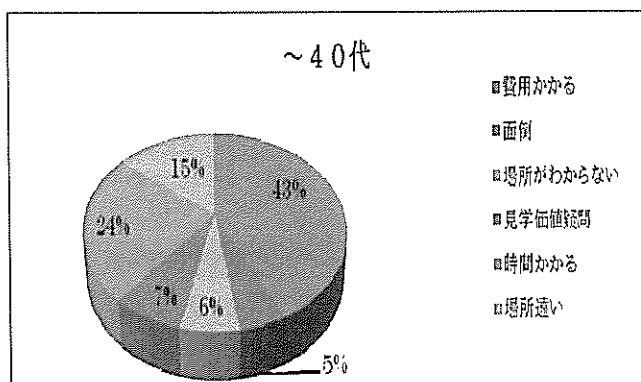


図 8 7. ヨーグルト祭の不便な点：50歳以下

b) 50歳以上

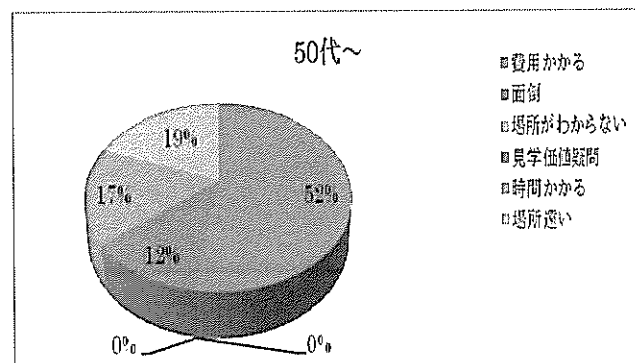


図 8 8. ヨーグルト祭の不便な点：50歳以上

c) 都会

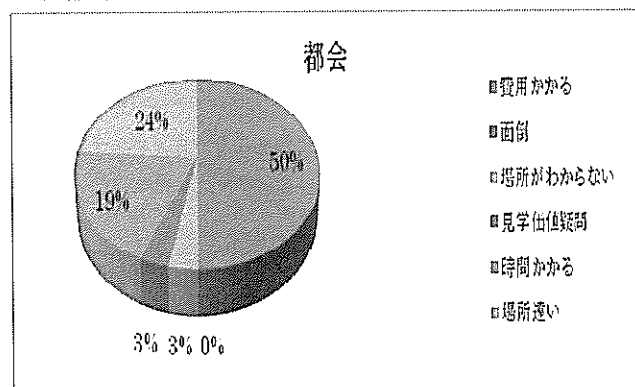


図 8 9. ヨーグルト祭の不便な点：都会

d) 地方町

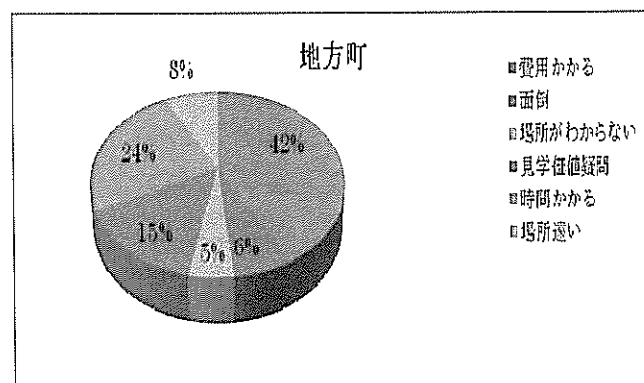


図 9 0. ヨーグルト祭の不便な点：地方町

図 8 7、8 8、8 9、9 0 を見比べ、年齢や場所関係なく、費用および時間がかかる（場所が遠い）ということがヨーグルト祭りへの参加の最も不便な点として圧倒的に多く取り上げられた。

Q4 ヨーグルト祭の代替手段

a) 50歳以下

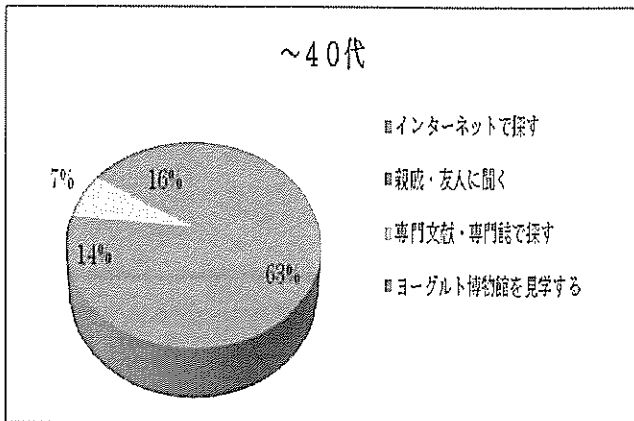


図91. ヨーグルト祭りの代替手段：50歳以下
b) 50歳以上

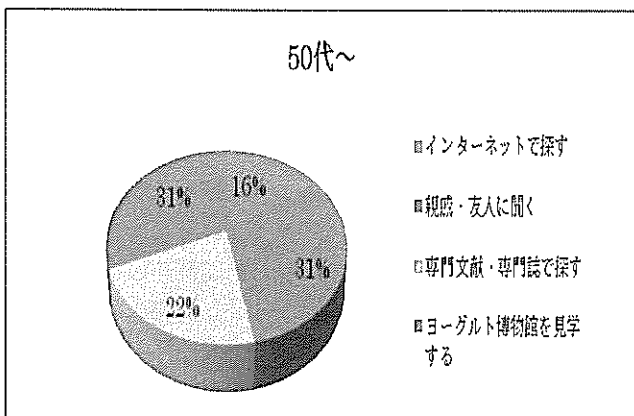


図92. ヨーグルト祭りの代替手段：50歳以上

図91図92を比較すると、50歳以下は「インターネットで調べる」と回答した人が63%と過半数を占めるのに対し、50歳以上は16%と少ない結果となり、年齢により日頃のインターネットの利用頻度が顕著に表れる結果となった。一方、50歳以上で最も多かった回答は「親戚や友人に聞く」および「ヨーグルト博物館を見学する」で31%という結果であった。

c) 都会

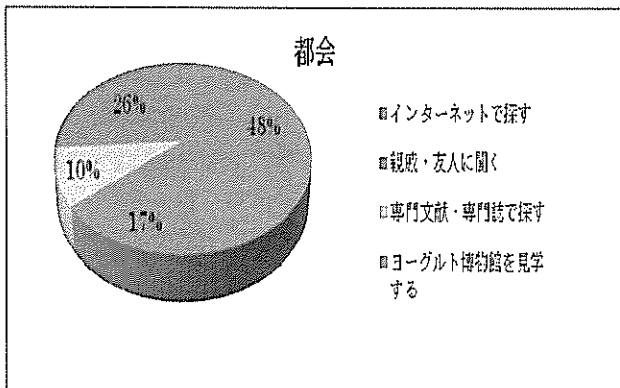


図93. ヨーグルト祭りの代替手段：都会

d) 地方町

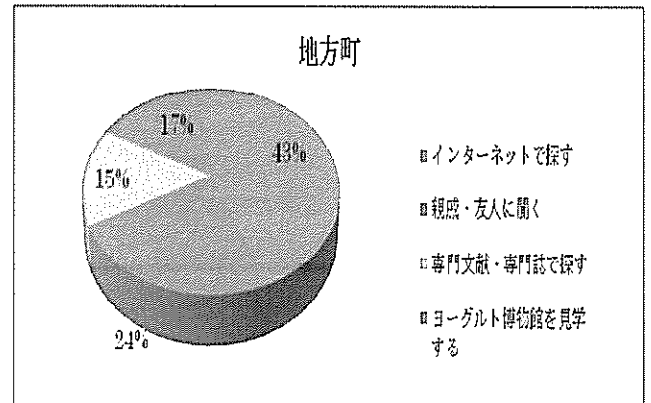


図94. ヨーグルト祭りの代替手段：地方町

図93と図94では「インターネットで調べる」と回答した人は都会では48%、地方町では43%とインターネットの価格や普及に関係していると思われる差が若干、見受けられた。また都会では「ヨーグルト博物館を見学する」と回答した人は26%、地方町では17%という結果であった。この結果から、「ヨーグルト祭りの代替手段」という選択により、ヨーグルトに関する観光振興とリンクし、都会に住む人々の動機づけにつながっているものと推察する。

付録

ヨーグルトの情報伝達手段に関するアンケート

お名前

該当するものに○印もしくは下線をつけてください。

性別 女性 男性

年齢 10代 20歳代 30歳代 40歳代

50歳代 60歳代 70歳代以上

ご住所

ご職業

最終学歴 中学校 高等学校 専門学校 大学

既婚（子供有 人 / 無）・未婚

同居家族 有（ ）人・無

1. ヨーグルトに関する情報入手目的のうち、あなたにとって、優先順位が最も高いものはどれですか。

ア) ヨーグルトの味を楽しむために

イ) 健康を保つために

ウ) 観光資源として楽しむ ために

エ) ヨーグルトに含まれる乳酸菌の効能を知るために

オ) ブルガリアの伝統的ヨーグルト食文化を学ぶために

2. ブルガリアの伝統的ヨーグルト食文化について知るために、以下のどの手段を選びますか。

ア) インターネットで歴史などについて情報を探す

- イ) 親戚や友人に聞く
- ウ) 専門文献・専門誌で探す
- エ) ヨーグルト博物館を見学し、知識を深める
- オ) ヨーグルト祭りに参加し、現地のおばあちゃんにヒアリングする
- カ) その他_____

3. ヨーグルトに含まれる乳酸菌について学ぶために、以下のどの手段を選びますか。

- ア) インターネットで情報を探す
- イ) 親戚や友人に聞く
- ウ) 専門文献・専門誌で探す
 - エ) ヨーグルト博物館のパネルや展示で知識を深める
 - オ) ヨーグルト祭りで関係者に情報を提供してもらう
 - カ) その他_____

4. ブルガリアヨーグルトの本来の味を楽しむために、以下のどの手段を選びますか。

- ア) 食べ方やレシピなどをインターネットで探す
- イ) 親戚や友人にどこのヨーグルトがおいしいかを聞く
- ウ) 雑誌や本などで情報を集める
- エ) ヨーグルト博物館を見学し、土産コーナーで買う
- オ) ヨーグルト祭りに参加し、現地のおばあちゃんのヨーグルトを食べる
- カ) その他_____

5. 観光資源としてヨーグルトを楽しむために、以下のどの手段を選びますか。

- ア) インターネットで口コミ情報を調べる
- イ) 親戚や友人に聞く
- ウ) 旅行雑誌で調べる
- エ) ヨーグルト博物館を見学する
- オ) ヨーグルト祭りに参加する
- カ) その他_____

6. 健康維持のため、ヨーグルトをどのような手段で選びますか。

- ア) インターネットで効能を調べる
- イ) 親戚や友人に相談する
- ウ) 専門文献・専門誌で調べる
- エ) ヨーグルト博物館でヨーグルトの健康への効果について調べる
- オ) ヨーグルト祭りに参加し、関係者に聞く
- カ) その他_____

7. ヨーグルトに関する上記のさまざまな手段についてお答えください。

7-1 インターネットで情報を探すこと。

- 7-1-1. インターネットでヨーグルトに関する情報を探したことがありますか。
- ア) はい

- イ) いいえ
- ウ) 今後必要であれば探す
- エ) 今後必要でも探さない

7-1-2. ヨーグルトのどのような側面についてインターネットで情報を探しますか。

- ア) 健康への効果について
- イ) 料理への利用について
- ウ) ヨーグルトの作り方について
- エ) ヨーグルトの種類について
- オ) ブルガリアの伝統的ヨーグルト食文化について
- カ) ヨーグルト作りで有名な観光地について

7-1-3. この手段の不便な点を挙げてください。

- ア) パソコンが必要・インターネットが高い
- イ) ヨーグルトについて十分情報提供がない
- ウ) 情報が多すぎる
- エ) 情報の信頼性に疑問を持つ
- オ) パソコンの知識が必要
- カ) 面倒である
- キ) その他_____

7-1-4. インターネットアクセスがなければ、他にどのような手段を選びますか。

- ア) 親戚や友人に聞く
- イ) 専門文献・専門誌で探す
- ウ) ヨーグルト博物館を見学する
- エ) ヨーグルト祭りに参加する
- オ) その他_____

7-2 親戚や友人に聞く

7-2-1. ヨーグルトに関して親戚や友人に何か情報を聞いたことがありますか。

- ア) はい
- イ) いいえ
- ウ) 今後必要であれば聞く
- エ) 今後必要でも聞かない

7-2-2. ヨーグルトのどのような側面について親戚や友人に相談しますか。

- ア) 健康への効果について
- イ) 料理への利用について
- ウ) ヨーグルトの作り方について
- エ) ヨーグルトの種類について
- オ) ブルガリアの伝統的ヨーグルト食文化について
- カ) ヨーグルトで有名な観光地について

7-2-3. この手段の不便な点を挙げてください。

- ア) 時間がかかる
- イ) ヨーグルトについて詳しい親戚や友人がいない
- ウ) みんなの意見が違うので混乱する
- エ) 情報の信頼性に疑問を持つ

オ) 面倒である

カ) その他_____

7-2-4. 聞く人がいなければ、他にどのような手段を選びますか。

ア) インターネットで探す

イ) 専門文献で探す

ウ) ヨーグルト博物館を見学する

エ) ヨーグルト祭りに参加する

オ) その他_____

7-3 専門文献・専門誌

7-3-1. 専門文献・専門誌でヨーグルトに関する情報を探したことがありますか。

ア) はい

イ) いいえ

ウ) 今後必要であれば調べる

エ) 今後必要でも調べない

7-3-2. ヨーグルトのどのような側面について専門文献・専門誌で情報を探しますか。

ア) 健康への効果について

イ) 料理への利用について

ウ) ヨーグルトの作り方について

エ) ヨーグルトの種類について

オ) ブルガリアの伝統的ヨーグルト食文化について

カ) ヨーグルトで有名な観光地について

7-3-3. この手段の不便な点を挙げてください。

ア) アクセスが不便

イ) ヨーグルトについて十分な情報提供がない

ウ) 著者が正しいことを書いているか疑問

エ) 本を読む時間がない

オ) 専門用語が多くてわからない

カ) 面倒である

キ) その他_____

7-3-4. 専門文献・雑誌がなければ、他にどのような手段を選びますか。

ア) インターネットで探す

イ) 親戚・友人に聞く

ウ) ヨーグルト博物館を見学する

エ) ヨーグルト祭りに参加する

オ) その他_____

7-4 ヨーグル博物館の見学

7-4-1. ヨーグルト博物館を訪問したことがありますか。

ア) はい

イ) いいえ

ウ) 機会があれば、訪問したい

エ) 興味がない

7-4-2. どのような目的でヨーグルト博物館を訪問しますか。

ア) ヨーグルトの健康への効果を知るため

イ) 料理への利用について情報を集めるため

エ) ヨーグルトの伝統的作り方について知るために

オ) ヨーグルトの本来の味を楽しむため

カ) ブルガリアの伝統的ヨーグルト食文化を楽しむため

キ) ヨーグルトの歴史について知るため

ク) 観光のために

7-4-3. この手段の不便な点を挙げてください。

ア) 費用がかかる

イ) 面倒である

ウ) 場所がわからない

エ) 見学する価値があるか疑問

オ) 時間がかかる

カ) 場所が遠い

キ) その他_____

7-4-4. 博物館に行けなければ、ヨーグルトに関する情報を得るために、他にどのような手段を選びますか。

ア) インターネットで情報を探す

イ) 親戚・友人に聞く

ウ) 専門文献・専門誌で探す

エ) ヨーグルト祭りに参加する

オ) その他_____

7-5 ヨーグルト祭りに参加する

7-5-1. ヨーグルト祭りに参加したことがありますか。

ア) はい

イ) いいえ

ウ) 機会があれば、参加したい

エ) 興味がない

7-5-2. どのような目的でヨーグルト祭りに参加しますか。

ア) ヨーグルトの健康への効果を知るため

イ) 料理への利用について情報を集めるため

ウ) ヨーグルトの伝統的作り方について知るために

エ) ヨーグルトの本来の味を楽しむため

オ) ブルガリアの伝統的ヨーグルト食文化を楽しむため

カ) ヨーグルトの歴史について知るため

キ) 観光のために

7-5-3. この手段の不便な点を挙げてください。

ア) 費用がかかる

イ) 面倒である

ウ) 場所がわからない

エ) 見学する価値があるか疑問

オ) 時間がかかる

カ) 場所が遠い

キ) その他_____

7-5-4. ヨーグルトの祭りに参加できなければ、ヨーグルトに関する情報を得るために、他にどのような手段を選びますか。

- ア) インターネットで情報を探す
- イ) 親戚・友人に聞く
- ウ) 専門文献・専門誌で探す

エ) ヨーグルト博物館を見学する

オ) その他_____

質問は以上です。長時間のご協力ありがとうございました。